



2021年度（令和3年度）

# 事業報告

社会福祉法人豊中きらら福祉会



中長期経営計画 基本工程表(平成28年度～令和7年度)

私たちは、地域の人々と共同し、民主的で開かれた経営、運営を目指します

[illegible]

昨年度から新型コロナウイルスも含めた災害等の緊急時にも、安定的に運営がこなえるように作成を開始し、次年度には職員に回覧する予定

私たちは、障害のある人たちが必要な時に必要な制度が利用できるよう、働く場だけではなく生活の場など、地域に開かれた社会資源づくりをすすめます。

[illegible]

工房モコの移転拡張：物件検討中  
工房「羅針盤」の老朽化：物件検討中

**災害用備品【アルファ米と乾パン】の購入  
及び試食**

感染対策の観点から、リモート会議を継続と今後も情勢を見ながら活用し、必要備品等の購入を検討

私たちは、障害のある人のニーズや主体性、可能性を尊重した実践を目指します

[illegible]

今年度も人事交流と職員全体会議を実施できていないが、全体会議については、職員数も増えていく中で密にならずに集まることも困難な状況である（現状に即した新たな形式での開催も検討している）

各事業所の後方支援として、利用者・家族の地域生活をサポート  
来年度から職員を4名に増員し、「豊中市障害者相談支援センター」  
として相談支援事業委託を継続

私たちは、障害のある人たちに対する、いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、人としての権利を擁護します

[illegible]

私たちは、障害のある人が安心して暮らせる街づくりを、地域の人々と共同し、障害者運動を発展させながらすすめていきます。

| 項 目          | 内 容               | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 実施機関      |
|--------------|-------------------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 30周年設立記念事業   | 法人合併とクレヨン開所式      |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       | 事務局       |
| 啓発活動の推進      | コンサート、映画会、法人バザー等  |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       | 事務局、実行委員会 |
| 啓発活動向上委員会の設置 | 事業部の名称変更          |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       | 啓発活動向上委員会 |
| 広報・販売活動の充実   | 機関紙・SNS等での広報活動の推進 |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       | 啓発活動向上委員会 |
|              | 自主製品カタログの作成       |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       | 啓発活動向上委員会 |

Facebookの更新を継続し、地域への発信で他のSNS媒体の使用を検討する必要がある

自主製品の通年カタログが完成し、販売を開始した  
今後はより広い範囲で配布し、販売促進と啓発活動につなげていく

私たちは、障害のある人たち一人ひとりが豊かな生活を実感し、充実した人生が送れるよう、自らの専門的役割と使命を自覚し、絶えず研鑽を重ねます

| 項 目          | 内 容                | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 実施機関      |
|--------------|--------------------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 法人の歴史と障害者運動  | 職員研修として1年間実施       |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       | 研修委員会     |
| 新人基礎研修の充実    | 3年間の新人基礎研修を実施      |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       | 研修委員会・事務局 |
| 人材育成プログラムの整備 | 経験年数・役割別研修の実施      |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       | 研修委員会・事務局 |
| 情勢学習の実施      | 職員研修として年1回実施       |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       | 研修委員会     |
| 学びの場の確保      | オンライン(オンデマンド)研修の参加 |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       | 研修委員会     |

今年度も全体研修として、きょうされん及び大阪障害者センター主催のオンライン(オンデマンド)研修を受講した  
来年度も以前の形式での研修開催は困難であることが予想されるため現状に即した方法で学びの場を確保していく必要がある

私たちは、基本的人権が尊重される戦争のない恒久平和の実現と民主的な社会の発展を目指します

| 項 目     | 内 容          | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 実施機関       |
|---------|--------------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| 平和学習の実施 | 職員研修として年1回実施 |        |        |        |        |       |       |       |       |       |       | 研修委員会・9条の会 |

達成項目

未達成または継続項目

新しい項目

# 法人全体総括

## はじめに

2年にわたりパンデミックを引き起こしている新型コロナ感染症は、法人・施設の運営、日々の保育・介護・支援、そして地域の福祉に大きな影響を及ぼしている。この間、緊急事態宣言やまん延防止等の発令が出ると素早く法人としての対応を周知してきた。ワクチン接種についても施設連絡会の医療法人愛和会の協力を得て、分野を超えて多くの利用者・職員の接種がスムーズにおこなわれた。

現在もオミクロン株が凄まじい感染力で拡がっているが、福祉現場で働く私たちは、引き続きマスクの着用や手洗いうがい、消毒・検温等の徹底と不要不急の外出制限等の日頃の感染症対策と健康管理を怠らないよう気をつけ、薄い補償の中で障害を持つ人たちの暮らしを守り続けなければならない。

また、中小企業や商店等の経営状況が悪化し、不安定な労働条件の中で働く労働者等、明日の生活に困っている人たちが急激に増えたのに加え、物価は上昇している。一方で、一握りの資産家たちの資産が倍増しているとの報道があった。

2022年は、社会福祉経営をめぐって社会福祉連携推進法人制度が新たに4月からスタートする。

分野を超え、地域を超え、全国でつながり合い、学び合い、声をあげ、政府や自治体に働きかける等、さまざまに活動を展開してきている社会福祉経営全国会議が結成された。全世代型社会保障の名のもとでさらなる地域における助け合いが強られる中、ぶれない経営組織の構築のため参加してきた。

## 人材確保と育成・定着に向けた取り組み

人材確保が困難の中、大学の訪問や豊中市福祉サービス継続を目的とした地域人材活用支援金事業に登録したり、従来取引のある業者やハローワーク等を活用したりして採用に結びつけてきた。

雇用保険適用の拡大、育児休業の申出・取得を円滑にするための雇用環境整備の義務づけ等、労務管理上の法改正がおこなわれてきた中で、メンタルヘルスの取り組みは、毎年ストレスチェックをおこない、労働衛生環境の向上を目指してきた。また、2022年4月よりハラスメント防止対策が義務化されることを受けて、労働組合とも協定書を交わし、各事業所の現場責任者や労働組合員を中心に検討委員会を設置した。相談があった際には、事実関係の確認、行為者・相談者への取るべき措置や再発防止策を検討し、全事業所で共有してパワハラのない働きやすい職場環境整備を進めてきた。

職場環境作りについては、コロナ禍も相まってまだ外部の研修や会議に直接参加はできないが、オンライン等を駆使した会議や研修等が板についてきた。また、出かけることなく事業所でも受講できることもあり、例年よりも多くの職員が参加できている。

新人職員が増えたことで、昨年に引き続き当事者や親家族はもちろん、多くの地域の方々と共同で運営していた頃の法人の原点に戻り、法人の歴史や理念を学ぶことで、誰のための事業所なのかを全職員で共有してきた。今回の総括も各担当や事業所の日々の積極的な活動の成果を「中長期経営計画」に示された理念に沿って報告されている。

## 開かれた資源の提供とサービスの質の向上

利用者や家族の高齢化に伴う安心した地域生活の場づくりは、深刻で緊急な課題である。建物の老朽化に伴う事業所の移転拡張等も含め、今年度は実現できなかったが、多様化する福祉現場に備えて整備する必要がある。

提供するサービスの質の向上はもちろんのこと、それには業務の質や個の質を上げることは必須である。職員研修に加えて各種業務の遂行やコンプライアンス遵守の重要性も問われてくる。

そして何よりも、「この地域にこのような法人があって良かった」と思っていただけの相談支援事業も含めたサービスの質の向上に、常勤・非常勤限らず職員一体となって努めていかなければならない。

### **社会福祉法人の公益的な取り組みの強化**

この間、感染症対策で地域のイベントや会議等が相次いで中止となり、地域の人たちとのつながりが希薄になったが、ワクチン接種の取り組みや備品の共同購入等で施設間の協力も目立った。また、授産製品もネット販売等工夫をしながらおこなってきた。このような時だからこそ法人の役割を発揮し、地域への備品の貸し出し等情報提供し、可能な限り社会貢献活動を発信し続けていかなければならない。

また、「新型コロナウイルス感染対策職員行動マニュアル」の作成を機敏に作成したかいもあってか、今年度も各事業所で数人の感染・発症は見られたが、感染力の強いオミクロン株に対しても今のところは、クラスターを発生させることなく抑え込むことができています。

### **来年度について**

来年度は、令和2年6月に公布された「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」に基づき、「社会福祉連携推進法人制度」が施行される。社会福祉連携推進法人は、社会福祉法人等が社員となり、福祉サービス事業者間の連携・協働を図るための取り組み等をおこなう新たな法人制度である。また、同じ令和2年6月にハラスメントの防止対策が強化された防止措置が義務化される。

一方で、豊中市の相談支援事業のあり方が大幅に変わり、「千里相談支援センター」としてスタッフ1名が加わり、4名体制で私たちの法人が委託を受けて運営していくこととなった。

新たな報酬体系や法律が示される度に福祉情勢は厳しさを増してくる昨今、もっとも困っている人へ耳を傾け、決して弱者切り捨てや福祉の後退を許さない、そして、社会の課題である障害者差別をはじめとする諸問題に対しても、一人ひとりが尊重される人権擁護への活動を、障害者権利条約の理念を地域の隅々に広げるための運動を、いろいろな立場の団体や人々と連携して引き続き推進していく。

そして何よりも、生きる権利と人権保障を守る社会福祉事業の根幹を揺るがす憲法9条・25条をはじめとする改憲の動きが強まると予測される。わたしたちはこれらの諸課題に対して、あくまでも「権利としての福祉」を守り実現させるという軸をぶらさずに進めていく必要がある。

2021年度（令和3年度） 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員14名）・就労継続支援B型（定員23名）】  
 実施施設 名称 ワークセンターとよなか  
 所在地 〒561-0858 大阪府豊中市服部西町5-18-5

実施期間 2021年（令和3年）4月1日～2022年（令和4年）3月31日 開所日数 244 日

|         |                  |     |               |       |       |           |     |     |      |     |                |         |           |                      |             |              |      |                                            |         |
|---------|------------------|-----|---------------|-------|-------|-----------|-----|-----|------|-----|----------------|---------|-----------|----------------------|-------------|--------------|------|--------------------------------------------|---------|
| 従業者     |                  | 管理者 | 管理責任者<br>サービス | 生活支援員 | 就労支援員 | 看護職員      | 栄養士 | 調理員 | 事務職員 | 運転手 | 機能訓練・<br>マッサージ | 嘱託医     | 顧問<br>弁護士 | 顧問<br>社労士            | 業務委託<br>税理士 | 換算（常勤<br>人数） | 年間行事 | ※定例開催：ハンドマッサージ・ふれあいエステ<br>なかまの会<br>調理実習は中止 |         |
|         | 正規               | 1   | 1(兼)          | 6     | 3     |           |     |     |      |     |                |         |           |                      |             | 9            | 4月   | 入所式（所内）                                    |         |
|         | 非正規              |     |               | 9     | 1     | 1         |     |     |      |     |                | 1       |           |                      |             | 6.5          | 5月   | 避難訓練                                       |         |
|         | ボランティア等          |     |               |       |       |           |     |     |      |     |                |         |           |                      |             | 0            | 6月   |                                            |         |
|         | （内障害者雇用）         |     |               |       |       |           |     |     |      |     |                |         |           |                      |             | 0            | 7月   | 健康診断                                       |         |
|         | 計                | 1   | 1(兼)          | 15    | 4     | 1         | 0   | 0   | 0    | 0   | 0              | 1       | 0         | 0                    | 0           | 15.5         | 8月   |                                            |         |
| 職員入退職状況 |                  |     |               |       |       | 新規採用者 5 名 |     |     |      |     |                | 退職者 3 名 |           |                      |             |              |      | 9月                                         |         |
| 利用者     |                  | 身体  | 知的            | 精神    | 計     | うち重複      |     |     | 認定区分 | 6   | 5              | 4       | 3         | 2                    | 1           | 未判定          | 計    | 10月                                        | 避難訓練    |
|         | 身・知              |     |               |       |       | 知・精       | 精・身 | 11月 |      |     |                |         |           |                      |             |              |      |                                            |         |
|         |                  |     |               |       |       |           |     | 12月 |      |     |                |         |           |                      |             |              |      | 年末お楽しみ会                                    |         |
|         | 男                | 2   | 29            | 4     | 35    | 8         | 1   | 0   |      | 1   | 10             | 9       | 6         | 4                    | 0           | 5            | 35   | 1月                                         | 永年勤続表彰式 |
|         | 女                | 2   | 8             | 1     | 11    | 2         | 0   | 0   |      | 2   | 1              | 5       | 2         | 0                    | 0           | 1            | 11   | 2月                                         |         |
|         | 計                | 4   | 37            | 5     | 46    | 10        | 1   | 0   |      | 3   | 11             | 14      | 8         | 4                    | 0           | 6            | 46   | 3月                                         |         |
|         | 平均年齢 49.0 才      |     |               |       |       |           |     |     |      |     |                |         |           |                      |             |              |      |                                            |         |
| 授産活動報告  | 授産内容             |     |               |       |       |           |     |     |      |     | 利用者数(人)        | 職員数(人)  | 売上額(円)    | 利用者一人当たり<br>平均工賃（月額） | 受注開始年月日     |              |      |                                            |         |
|         | 内職事業（生活介護）       |     |               |       |       |           |     |     |      |     | 17             | 7       | 396,642   | 4,825                | 平成28年4月1日   |              |      |                                            |         |
|         | 自主製品製造販売（生活介護）   |     |               |       |       |           |     |     |      |     |                | 7       | 876,387   |                      | 平成28年4月1日   |              |      |                                            |         |
|         | 外部委託事業（就労継続支援B型） |     |               |       |       |           |     |     |      |     | 29             | 5       | 1,789,198 | 6,066                | 平成11年4月1日   |              |      |                                            |         |
|         |                  |     |               |       |       |           |     |     |      |     |                |         |           |                      |             |              |      |                                            |         |
|         |                  |     |               |       |       |           |     |     |      |     |                | 計       | 3,062,227 |                      |             |              |      |                                            |         |

# ワークセンターとよなか

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                                                                                       | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①実践の充実＜生活／労働／健康管理／環境等＞</p> <p>(1) 利用者に新しい作業内容を提供するにあたり、新しいことにチャレンジしていくための雰囲気作りや、スモールステップを積み重ね自己肯定感を高めていける環境作りをおこなう。</p> <p>(2) 授産品の販路を模索し、新たな授産活動にも参加できるよう心がけていく。</p> <p>(3) 利用者の多様性に対応した職場環境や生活の場を提供し、安心した生活を送れるようにする。</p> | <p>文責：小島 加奈子</p> <p>(1) 新内職の提供や就労に向けた支援をおこなうため、仕事に対する意識の向上を目指した。利用者同士のコミュニケーションと連携の強化を図ったことにより、結果として、周囲の動きを見ながら次の行動を予想して動くことのできる利用者が増えた。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスの影響により、イベント参加や外部との接触が制限される中、授産製品や利用者の作品をSNS等に掲載することで、オンラインショップの売上向上や知名度の向上を図った。新たな授産活動の一環として、他作業所とのコラボ商品の検討を開始した。</p> <p>(3) 利用者が日中生活を送るフロアの整理整頓をすることにより、フロア内での事故や怪我の防止につながるとともに、職員がフロア全体を見やすくなったことにより、見守りの強化にもつなげることができた。</p> |
| <p>②権利保障＜権利擁護／事故報告書／ひやりハット報告書／苦情・相談報告書等＞</p> <p>(1) 報告書の中で繰り返し起きている事項に関して話し合い、その後の経過についても確認をしていく。</p> <p>(2) 相談しやすい環境や雰囲気作りをおこない、深刻な状態にならないようにしていく。</p> <p>(3) なかまの会や意見箱から出た意見を参考に、利用者主体の運営を進めていく。</p>                         | <p>文責：岩田 功二</p> <p>(1) 繰り返し起こるような事案は、今年度は見られなかった。報告件数は、昨年と比較して減少しているが、職員による確認不足によるものが多く見られた。事故を未然に防ぐ、気づきによる報告書を増やしていくことが課題。</p> <p>(2) 相談スペースを設けたことで、相談に対するハードルが下がり、気軽に話せる機会が増えた。日頃の会話等から利用者の困り事を知る機会となっている。</p> <p>(3) なかまの会から「昨年度はできなかったお出かけをしたい」との意見があり、感染対策をしながら小規模のグループ分ける等をして実施することができた。</p>                                                                                          |
| <p>③専門性の向上と人材育成</p> <p>(1) チームでのアプローチを引き続き大切にし、障害特性の理解に努め、環境面、予見性等「気づき」の専門性を共有して方向性を出していく。</p> <p>(2) 職員が協力し、負担の片寄りがないように知恵を出し合い、コミュニケーションを取っていく場を意識して作っていく。</p>                                                               | <p>文責：熊谷 隆</p> <p>(1) 研修やグループワーク等で障害特性や環境面についてディスカッションができた一年であった。聞くだけではなく話す機会を設けることで、コミュニケーションを取ることができた。引き続き研修や学習する機会を設け、専門性の向上に努める。</p> <p>(2) 負担が偏らないように定期的に会議を継続し、若手から非常勤まで話しやすい場を作っていき、情報共有することができた。コロナ禍における一年であったので、外部研修に参加できなかったが、オンライン研修に参加し、学習する機会を設けることができた。</p>                                                                                                                   |

# ワークセンターとよなか

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                             | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>④事業展開の実施・民主的経営</p> <p>(1) 被保護者就労準備支援事業を継続し、生活困窮者の実習受け入れ先として、市と連携していく。</p> <p>(2) 聞き取りを定期的におこない、体調管理を含めて無理のない働き方を一緒に考えていく。</p> <p>(3) 地域での清掃等、顔の見える関係性を継続していく。</p> | <p>文責：熊谷 隆</p> <p>(1) 21年度は7名の新規実習生が職業訓練として来られた。その内、6名が次のステージに向けて卒業していった。次年度も予定している。</p> <p>(2) 外部作業参加者の高齢化が進んでいる。夏場の外部作業では、体力的に厳しい利用者もでてきているので、今後は働き方やローテーション等を検討していく。</p> <p>(3) 歩いていける範囲での清掃等で地域との顔の見える関係作りは継続できた。近隣住民からの大きな苦情もなく、地域の一員として馴染んできている。</p> |
| <p>⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み</p> <p>(1) 障害福祉についての制度拡充を求めるための運動に取り組む。</p> <p>(2) 障害者・家族・関係者の願いに沿った行政を実現するための運動に取り組む。</p>                                                   | <p>文責：河田 善次</p> <p>(1) 今年度もきょうされん国会請願署名活動に取り組んだ。職員、利用者とそのご家族が一丸となって取り組んでいる街頭署名活動に関しては、今年度も新型コロナウイルスの蔓延防止により中止となる。そのため、今回は個々での取り組みとなった。</p> <p>(2) 障害者(児)を守る全大阪連絡協議会が主催するヒューマンウェーブ集会は、新型コロナウイルスの蔓延防止により2022年6月に延期となる。そのため、今回も署名のみを大阪府に当事者の願いを添えて届けた。</p>    |



2021年度（令和3年度） ワークセンターとよなか 利用状況

|      |          |     |     |      |     |     |      |     |     |     |     |     |     |       |           |
|------|----------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----------|
| 生活介護 | 生介Ⅰ      | 4月  | 5月  | 6月   | 7月  | 8月  | 9月   | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    | 平均<br>利用者 |
|      | 定員       | 14  | 14  | 14   | 14  | 14  | 14   | 14  | 14  | 14  | 14  | 14  | 14  | 14    |           |
|      | 区分2      | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     | 13.4      |
|      | 区分3      | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |           |
|      | 区分4      | 77  | 69  | 85   | 76  | 76  | 79   | 72  | 66  | 66  | 66  | 70  | 64  | 866   |           |
|      | 区分5      | 172 | 146 | 180  | 157 | 164 | 143  | 152 | 155 | 166 | 156 | 136 | 156 | 1,883 |           |
|      | 区分6      | 40  | 16  | 41   | 37  | 40  | 59   | 60  | 59  | 41  | 35  | 32  | 51  | 511   |           |
|      | 合計       | 289 | 231 | 306  | 270 | 280 | 281  | 284 | 280 | 273 | 257 | 238 | 271 | 3,260 |           |
|      | 区分5・6（%） | 73% | 70% | 72%  | 72% | 73% | 72%  | 75% | 76% | 76% | 74% | 71% | 76% | 73.4  |           |
|      | 利用率（%）   | 99% | 92% | 100% | 97% | 96% | 101% | 97% | 91% | 98% | 97% | 95% | 88% | 96%   |           |

|              |        |     |     |     |     |     |      |      |     |      |     |     |     |       |           |
|--------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|-----------|
| 就労継続<br>支援B型 | 就BⅠ    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月   | 10月  | 11月 | 12月  | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    | 平均<br>利用者 |
|              | 定員     | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23   | 23   | 23  | 23   | 23  | 23  | 23  | 23    |           |
|              | 未判定    | 57  | 38  | 50  | 44  | 46  | 55   | 65   | 76  | 73   | 33  | 60  | 70  | 667   | 22.4      |
|              | 区分1    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0     |           |
|              | 区分2    | 91  | 76  | 99  | 86  | 83  | 86   | 93   | 88  | 87   | 59  | 93  | 90  | 1,031 |           |
|              | 区分3    | 105 | 88  | 114 | 101 | 99  | 98   | 111  | 91  | 90   | 114 | 57  | 89  | 1,157 |           |
|              | 区分4    | 176 | 152 | 192 | 183 | 179 | 184  | 194  | 186 | 183  | 166 | 149 | 181 | 2,125 |           |
|              | 区分5    | 42  | 36  | 44  | 40  | 39  | 40   | 42   | 40  | 39   | 38  | 36  | 44  | 480   |           |
|              | 区分6    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0     |           |
|              | 合計     | 471 | 390 | 499 | 454 | 446 | 463  | 505  | 481 | 472  | 410 | 395 | 474 | 5,460 |           |
|              | 利用率（%） | 98% | 95% | 99% | 99% | 93% | 101% | 105% | 96% | 103% | 94% | 96% | 94% | 98%   |           |

|         |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |     |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
| 開所日（生介） | 21 | 18 | 22 | 20 | 21 | 20 | 21  | 22  | 20  | 19 | 18 | 22 | 244 |
| 開所日（就B） | 21 | 18 | 22 | 20 | 21 | 20 | 21  | 22  | 20  | 19 | 18 | 22 | 244 |

2021年度（令和3年度） 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員20名）・就労継続支援B型（定員20名）】  
 実施施設 名称 工房「羅針盤」  
 所在地 〒560-0052 大阪府豊中市春日町3-1-41

実施期間 2021年（令和3年）4月1日～2022年（令和4年）3月31日 開所日数 243 日

| 従業者    |             | 管理者 | 管理責任者<br>サービス | 生活支援員 | 就労支援員 | 看護職員      | 栄養士 | 調理員 | 目標工賃達成指導員 | 運転手 | 言語聴覚士   | 嘱託医    | 顧問弁護士     | 顧問社労士                | 業務委託<br>税理士      | 合計（常勤換算人数） | 年間行事 | ※定例開催： |      |
|--------|-------------|-----|---------------|-------|-------|-----------|-----|-----|-----------|-----|---------|--------|-----------|----------------------|------------------|------------|------|--------|------|
|        | 正規          | 1   | 1(兼)          | 9     | 2     |           |     |     | 1         |     |         |        |           |                      |                  | 13         | 4月   | 誕生日会   |      |
|        | 非正規         |     |               | 7     |       | 2         |     |     |           | 4   | 1       | 1      | 1         | 1                    | 1                | 6.8        | 5月   | 誕生日会   |      |
|        | ボランティア等     |     |               |       |       |           |     |     |           |     |         |        |           |                      |                  | 0          | 6月   | 誕生日会   |      |
|        | （内障害者雇用）    |     |               | 2     |       |           |     |     |           |     |         |        |           |                      |                  | 1.6        | 7月   | 誕生日会   |      |
|        | 計           | 1   | 1(兼)          | 18    | 2     | 2         | 0   | 0   | 1         | 4   | 1       | 1      | 1         | 1                    | 1                | 21.4       | 8月   | 誕生日会   |      |
|        | 職員入退職状況     |     |               |       |       | 新規採用者 6 名 |     |     |           |     | 退職者 3 名 |        |           |                      |                  | 9月         | 誕生日会 |        |      |
| 利用者    |             | 身体  | 知的            | 精神    | 計     | うち重複      |     |     | 認定区分      | 6   | 5       | 4      | 3         | 2                    | 1                | 未判定        | 計    | 10月    | 誕生日会 |
|        | 身・知         |     |               |       |       | 知・精       | 精・身 | 11月 |           |     |         |        |           |                      |                  |            |      | 誕生日会   |      |
|        |             |     |               |       |       |           |     | 12月 |           |     |         |        |           |                      |                  |            |      | 誕生日会   |      |
|        | 男           | 20  | 1             | 25    | 46    | 0         | 0   | 16  |           | 12  | 8       | 7      | 2         | 0                    | 0                | 17         | 46   | 1月     | 誕生日会 |
|        | 女           | 5   | 3             | 8     | 16    | 0         | 0   | 5   |           | 3   | 4       | 4      | 1         | 0                    | 0                | 4          | 16   | 2月     | 誕生日会 |
|        | 計           | 25  | 4             | 33    | 62    | 0         | 0   | 21  |           | 15  | 12      | 11     | 3         | 0                    | 0                | 21         | 62   | 3月     | 誕生日会 |
|        | 平均年齢 51.8 才 |     |               |       |       |           |     |     |           |     |         |        |           |                      |                  |            |      |        |      |
| 授産活動報告 | 授産内容        |     |               |       |       |           |     |     |           |     | 利用者数(人) | 職員数(人) | 売上額(円)    | 利用者一人当たり<br>平均工賃（月額） | 受注開始年月日          |            |      |        |      |
|        | ガラスアート事業収入  |     |               |       |       |           |     |     |           |     | 7       | 4      | 353,151   | 5,744円               | 2006年（平成18年）4月1日 |            |      |        |      |
|        | 内職事業収入      |     |               |       |       |           |     |     |           |     | 25      | 5      | 1,207,215 | 5,744円               | 1998年（平成10年）4月1日 |            |      |        |      |
|        | 製菓販売収入      |     |               |       |       |           |     |     |           |     | 10      | 4      | 768,410   | 5,744円               | 1998年（平成10年）4月1日 |            |      |        |      |
|        | マット・ミサンガ    |     |               |       |       |           |     |     |           |     | 10      | 5      | 406,170   | 5,744円               | 2006年（平成18年）4月1日 |            |      |        |      |
|        | アロマキャンドル    |     |               |       |       |           |     |     |           |     | 10      | 4      | 14,230    | 5,744円               | 2006年（平成18年）4月1日 |            |      |        |      |
|        |             |     |               |       |       |           |     |     |           |     |         | 計      | 2,749,176 |                      |                  |            |      |        |      |

# 工房「羅針盤」

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①実践の充実＜生活／労働／健康管理／環境等＞</p> <p>(1) 通所ができるよう居場所を守る。その上で利用者が主体的に活躍し、やりがいを感じられるよう支援をおこなう。</p> <p>(2) 利用者の作業へのやりがいを向上しながら、工芸作業と内職の請負数の調整をおこない、工賃の向上に努める。物品や作業内容等の管理を徹底しておこなう。</p> <p>(3) 感染症対策を徹底しておこない、関係機関と連携し、利用者の健康維持に努める。</p> <p>(4) トイレがスムーズに利用できるよう、管理をしっかりとおこない、適宜誘導や声掛けも継続する。</p> <p>(5) 車両の老朽化が問題である。継続して送迎ができるよう車両の手配を検討する。</p> | <p>文責：池川 辰哉・田中 悠也</p> <p>(1) 利用者の思いをお聞きしながらの支援に努め、利用者間の交流や発信も増えてきているように感じる。今後もより一層利用者が主体的に活躍し、来て良かったと感じることのできる空間作りに努めていかななくてはならない。</p> <p>(2) 昨年に比べて工賃が上がっている。コロナ過ではあるが、内職作業の請負数を増やし工賃を向上することができた。工芸品も新しい品を出すことにより、利用者のやりがいへつながった。</p> <p>(3) コロナ禍でも継続して開所することができている。感染症対策として、アクリルパーテーションを増加し警戒に努めている。今後も、利用者だけでなく職員自身も感染症対策に努めていく。</p> <p>(4) 電気の消し忘れ等からトイレがスムーズに使用できないことがあったため、注意喚起のポップを作成した。それ以降はスムーズな利用ができている。</p> <p>(5) 老朽化により1台を廃車することになったが、近隣の方の個別送迎をピストン送迎することで、増車することなく送迎がおこなえている。</p> |
| <p>②権利保障＜権利擁護／事故報告書／ひやりハット報告書／苦情・相談報告書等＞</p> <p>(1) 利用者の権利が守られるよう、職員の権利擁護の意識を高めていく。</p> <p>(2) 利用者に対する接し方を相談し指摘し合える職場環境を作る。</p> <p>(3) 3ヶ月に1回、虐待防止チェックをおこなう。ひやりや事故の見逃しがないようにする。</p> <p>(4) 報告書から一つの原因を探るのではなく、その背景まで多面的に捉えるスキルを身につける。</p>                                                                                                | <p>文責：大住 茜・上月 和香奈</p> <p>(1) 利用者に対する接し方について話し合うことができ、ひやりハットの促しにもつながった。</p> <p>(2) 日々の振り返り時に相談しやすい環境を作り、不適切な支援はなかったか等の聞き取りもおこなえた。</p> <p>(3) 虐待防止チェックを実施し、他事業所との集計分の回覧をした。</p> <p>(4) 報告書を書くことによって、他の職員にも支援方法について意識してもらうことができた。</p>                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>③専門性の向上と人材育成</p> <p>(1) 研修に参加する目的を明確にし、得た情報を集団で共有することで全体のスキルアップにつなげる。</p> <p>(2) 職員一人ひとりが自分の意見に責任を持ち、積極的に発言するよう意識し、集団として協議・解決できる力を身につける。</p> <p>(3) 諸問題を個人で抱えるのではなく、責任者への報連相を徹底し、集団として実践ができるよう意識を高める。利用者への支援充実のため、新人及び中堅職員への指導を丁寧におこない、安定した体制づくりに努めていく。</p>                                                                           | <p>文責：黒川 昇宏・渋谷 千昂</p> <p>(1) 研修担当者から各職員の勤続年数等に合った研修の案内が積極的であったことで参加しやすく、また、得た情報を打ち合わせ等で共有し、全体のスキルアップにつながった。</p> <p>(2) 会議の場で少しずつではあるが、一人ひとりが発言するようになってきている。今後も活発な意見交換をし、有意義な時間になるよう意識を高めていきたい。</p> <p>(3) 要所に個人判断での対応はあったが、諸問題を抱え込まないよう責任者への報連相を適時おこなうことで、集団としての実践への意識は高まってきている。年度内に職員の入れ替わりはあったが、集団で協力しながら新人や中堅職員の育成をおこない、利用者の支援の充実に努めている。</p>                                                                                                                                                  |

# 工房「羅針盤」

| 基本目標及び計画                                                                                                                                        | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>④事業展開の実施・民主的経営</p> <p>(1) 利用希望者のさらなる受け入れと安全で快適な事業所運営及び環境を整えるため、土地の確保及び新施設建設を視野に入れた移転拡張を目指し、利用者、職員の意見を含め幅広い意見を反映させながら、地域に根差した社会資源を確立していく。</p> | <p>文責：山河 正裕</p> <p>(1) これまでも複数の物件情報の提供はあるものの、安定的な運営を維持することができる条件に合致した物件がないため、今年度も移転拡張をすることができなかった。今後は、移転にこだわらず現在の土地の取得等も含め、引き続き有力な情報収集に努めながら、事業所の拡張を通して社会資源の拡充を着実に実施するため、具体的な目標（達成目途）を設定していくことが早急に求められている。</p>                                                                                                                                                                            |
| <p>⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み</p> <p>(1) 請願署名以外の署名にも利用者と取り組んで地域と連携し、運動に取り組んでいく。<br/>(2) 研修等に参加し、日々基本的人権が尊重される恒久平和について意識していく。</p>                      | <p>文責：原 悠介</p> <p>(1) 各担当発信で利用者と職員で署名活動をおこなった。<br/>(2) 研修委員から研修の案内をこまめに情報提供をおこない、積極的に参加できるように取り組んだ。学んだことを会議の中で報告しているが、掘り下げでの意見交換はできていないので、今後は機会を設けていく必要がある。</p>                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>⑥その他（新型コロナウイルスに関すること）</p> <p>(1) 引き続き感染症対策を徹底し、安心して利用できる環境を整備すると同時に、陽性者や濃厚接触者が確認された場合は、保健所をはじめ関係機関と迅速かつ緊密な連携を取り、蔓延防止に努める。</p>                | <p>文責：山河 正裕</p> <p>(1) 利用者2名の陽性が確認されたが、陽性が疑わしい時点で他の利用者・職員と接触をさせないバブル方式を採用したため、それに伴う濃厚接触者は利用者1名、職員1名のみとなり、前回感染者が生じた時のような休所措置を実施する必要はなかった。長期間による感染対策に気の緩みが生じないよう、昨年度同様、感染症対策の徹底を実施してきたが、その一方で、自主製品の販売活動や地域との共同の取り組み、イベントの中止等で多様な実践の幅が縮小し続けている。これまでの教訓をもとに、実施形態を工夫することで参加可能な販売の再開等に取り組んでいく必要がある。また、感染拡大が急速に進む中、行政が発令する行動指針の遵守はもちろん、人の命を守る専門職という使命感、責任感のもと、日常生活においても指針以上の行動制限の協力を呼びかけていく。</p> |

2021年度（令和3年度） 工房「羅針盤」 利用状況

|      |          |     |     |      |     |     |     |      |     |      |     |     |      |       |           |
|------|----------|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-------|-----------|
| 生活介護 | 生介Ⅰ      | 4月  | 5月  | 6月   | 7月  | 8月  | 9月  | 10月  | 11月 | 12月  | 1月  | 2月  | 3月   | 合計    | 平均<br>利用者 |
|      | 定員       | 20  | 20  | 20   | 20  | 20  | 20  | 20   | 20  | 20   | 20  | 20  | 20   | 20    |           |
|      | 区分2      | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0     | 18.9      |
|      | 区分3      | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0     |           |
|      | 区分4      | 52  | 40  | 48   | 49  | 43  | 44  | 45   | 56  | 68   | 67  | 64  | 71   | 647   |           |
|      | 区分5      | 152 | 134 | 167  | 136 | 144 | 112 | 127  | 118 | 135  | 118 | 104 | 147  | 1,594 |           |
|      | 区分6      | 192 | 152 | 206  | 197 | 201 | 205 | 226  | 209 | 206  | 188 | 183 | 215  | 2,380 |           |
|      | 合計       | 396 | 326 | 421  | 382 | 388 | 361 | 398  | 383 | 409  | 373 | 351 | 433  | 4,621 |           |
|      | 区分5・6（%） | 87% | 88% | 89%  | 87% | 89% | 88% | 89%  | 85% | 83%  | 82% | 82% | 84%  | 86.0  |           |
|      | 利用率（%）   | 99% | 82% | 106% | 96% | 97% | 91% | 100% | 96% | 103% | 94% | 88% | 109% | 96%   |           |

|              |        |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |       |           |
|--------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----------|
| 就労継続<br>支援B型 | 就BⅠ    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    | 平均<br>利用者 |
|              | 定員     | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20    |           |
|              | 未判定    | 233 | 185 | 224 | 212 | 201 | 203 | 228 | 208 | 205 | 172 | 163 | 223 | 2,457 | 16.0      |
|              | 区分1    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |           |
|              | 区分2    | 10  | 17  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 27    |           |
|              | 区分3    | 33  | 29  | 54  | 49  | 53  | 42  | 44  | 42  | 34  | 33  | 22  | 30  | 465   |           |
|              | 区分4    | 63  | 55  | 72  | 64  | 33  | 52  | 54  | 51  | 46  | 41  | 44  | 49  | 624   |           |
|              | 区分5    | 29  | 17  | 29  | 28  | 18  | 25  | 29  | 30  | 30  | 20  | 18  | 22  | 295   |           |
|              | 区分6    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |           |
|              | 合計     | 368 | 303 | 379 | 353 | 305 | 322 | 355 | 331 | 315 | 266 | 247 | 324 | 3,868 |           |
|              | 利用率（%） | 88% | 85% | 87% | 89% | 73% | 81% | 85% | 79% | 79% | 70% | 69% | 74% | 80%   |           |

|         |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |     |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
| 開所日（生介） | 21 | 18 | 22 | 20 | 21 | 20 | 21  | 21  | 20  | 19 | 18 | 22 | 243 |
| 開所日（就B） | 21 | 18 | 22 | 20 | 21 | 20 | 21  | 21  | 20  | 19 | 18 | 22 | 243 |

2021年度（令和3年度） 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員18名）】  
 実施施設 名称 工房モコ  
 所在地 〒560-0032 大阪府豊中市蛍池東町4-5-4 木田ハイツ1F

実施期間 2021年（令和3年）4月1日～2022年（令和4年）3月31日 開所日数 242 日

| 従業者    |             | 管理者 | 管理責任者<br>サービス | 生活支援員 | 就労支援員 | 看護職員                            | 栄養士 | 調理員 | 事務職員 | 運転手 | マツサージ<br>機能訓練・ | 嘱託医     | 顧問弁護士   | 顧問社労士                | 業務委託<br>税理士      | 合計（常勤<br>換算人数） | 年間行事 | ※定例月1回開催：誕生会・スポーツの日（所内にて） |    |      |      |
|--------|-------------|-----|---------------|-------|-------|---------------------------------|-----|-----|------|-----|----------------|---------|---------|----------------------|------------------|----------------|------|---------------------------|----|------|------|
|        | 正規          | 1   | 1（兼）          | 8     |       |                                 |     |     |      |     |                |         |         |                      |                  | 8              | 4月   | お花見（ドライブ）                 |    |      |      |
|        | 非正規         |     |               | 1     |       | 1                               |     |     |      | 1   | 1              | 1       |         |                      |                  | 1.4            | 5月   |                           |    |      |      |
|        | ボランティア等     |     |               |       |       |                                 |     |     |      |     |                |         |         |                      |                  | 0              | 6月   | 健康診断                      |    |      |      |
|        | （内障害者雇用）    |     |               | 1     |       |                                 |     |     |      |     |                |         |         |                      |                  | 0              | 7月   |                           |    |      |      |
|        | 計           | 1   | 1（兼）          | 9     | 0     | 1                               | 0   | 0   | 0    | 1   | 1              | 1       | 0       | 0                    | 0                | 9.4            | 8月   |                           |    |      |      |
|        | 職員入退職状況     |     |               |       |       | 新規採用者（異動含む）                     |     |     |      |     | 2 名            |         | 退職者     |                      |                  |                |      | 0 名                       |    | 9月   | 避難訓練 |
| 利用者    |             | 身体  | 知的            | 精神    | 計     | うち重複                            |     |     | 認定区分 | 6   | 5              | 4       | 3       | 2                    | 1                | 未判定            | 計    | 10月                       |    |      |      |
|        | 身・知         |     |               |       |       | 知・精                             | 精・身 | 11月 |      |     |                |         |         |                      |                  |                |      | インフルエンザ予防接種               |    |      |      |
|        | 12月         |     |               |       |       | なかまの交流会（Zoom）・年末お楽しみ会（Zoom）・大掃除 |     |     |      |     |                |         |         |                      |                  |                |      |                           |    |      |      |
|        | 男           |     | 18            |       | 18    | 12                              |     |     |      | 11  | 5              | 2       |         |                      |                  |                |      | 18                        | 1月 | 初詣   |      |
|        | 女           |     | 4             |       | 4     | 3                               |     |     |      | 2   | 2              |         |         |                      |                  |                |      | 4                         | 2月 | 節分   |      |
|        | 計           | 0   | 22            | 0     | 22    | 15                              | 0   | 0   |      | 13  | 7              | 2       | 0       | 0                    | 0                | 0              | 0    | 22                        | 3月 | 避難訓練 |      |
|        | 平均年齢        |     |               |       |       | 43.0 才                          |     |     |      |     |                |         |         |                      |                  |                |      |                           |    |      |      |
| 授産活動報告 | 授産内容        |     |               |       |       |                                 |     |     |      |     | 利用者数(人)        | 職員数(人)  | 売上額(円)  | 利用者一人当たり<br>平均工賃（月額） | 受注開始年月日          |                |      |                           |    |      |      |
|        | 木工製品製造販売    |     |               |       |       |                                 |     |     |      |     | 22             | 9       | 163,255 | 2,000                | 1996年（平成8年）4月1日  |                |      |                           |    |      |      |
|        | 製菓製造販売      |     |               |       |       |                                 |     |     |      |     |                |         | 93,355  |                      | 2012年（平成24年）4月1日 |                |      |                           |    |      |      |
|        | 内職作業        |     |               |       |       |                                 |     |     |      |     |                |         | 203,237 |                      | 2014年（平成26年）9月1日 |                |      |                           |    |      |      |
|        | リサイクル事業・その他 |     |               |       |       |                                 |     |     |      |     |                |         | 54,010  |                      | 2009年（平成21年）4月1日 |                |      |                           |    |      |      |
|        |             |     |               |       |       |                                 |     |     |      |     |                |         |         |                      |                  |                |      |                           |    |      |      |
|        |             |     |               |       |       |                                 |     |     |      |     | 計              | 513,857 |         |                      |                  |                |      |                           |    |      |      |

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①実践の充実＜生活／労働／健康管理／環境等＞</p> <p>文責：公宅 伸治</p> <p>(1) 利用者が主体となった意思決定がおこなえるよう支援する。ADLの細かな変化に対して職員一人ひとりが意識していく。</p> <p>(2) 障害特性について考慮し、利用者主体での作業を進めながら、利用者の意見を商品化につなげていく。内職の新規開拓やオンライン販売をおこない、工賃保証を安定できるよう努めていく。</p> <p>(3) 新型コロナウイルスに対しての感染予防対策に努める。日々の健康状態を把握し、ご家族・他機関と連携を取り、利用者一人ひとりの体調管理をおこなっていく。</p> <p>(4) 備品購入を活用し感染予防対策の徹底に努めていく。また、職員間で日々話し合い、共有・改善をおこないながら利用者が安心安全に過ごせる環境作りを進めていく。</p> | <p>(1) 意思決定に関して、既存のイラストをより細かく数を増やし、職員が利用者の意思や行動について『待つ』ことを意識して支援をした。ADLに関して変化が見られてきたので、悪化と事故につながらないように支援をおこなった。</p> <p>(2) 授産商品に関して利用者主体で作業を進めながら、新しい商品を販売することができた。工賃保障としてオンライン販売での成果が得られなかったが、内職の新規開拓をおこなうことができ、工賃保障につなげることができた。</p> <p>(3) 感染予防対策（マスクの着用・手洗い・手指の消毒・体温測定）を徹底しておこない、重要性を説明することで、利用者自身が意識して感染予防対策をおこなえるようになった。サービス提供記録でのやり取り等で、ご家族と連携を取り健康状態の把握に努めた。</p> <p>(4) 各作業台に設置した飛沫防止フィルムを、定期的に交換して感染予防対策の徹底に努めた。利用者同士が密にならないよう整理整頓を常に意識し、所内のスペースを確保した。</p> |
| <p>②権利保障＜権利擁護／事故報告書／ひやりハット報告書／苦情・相談報告書等＞</p> <p>文責：瓜生 隆紀</p> <p>(1) 不適切な支援について日々の振り返りや終礼等で議論を設けて、その内容を教訓化していく。</p> <p>(2) 職員一人ひとりの気づきや予見性を高めていくため、実践での情報を職員間で共有する。</p> <p>(3) 繰り返し起きている事例をなくしていくために、職員の意識が低下しないように努める。</p>                                                                                                                                                                    | <p>(1) 不適切な支援について終礼等で議論をして深めていくことはできたが、教訓化するまでには至らなかった。</p> <p>(2) 毎日の振り返りで利用者の様子の変化等、気がついたことを話し合って情報を共有していくことができた。</p> <p>(3) 繰り返し起きている事例については、職員によって意識の差が生じてしまった。その差が原因で連携がうまくとれず、事例が増加することはなかったが、減少させることはできなかった。</p>                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>③専門性の向上と人材育成</p> <p>文責：井口 朋子</p> <p>(1) 新規入職者に定着してもらえるよう、安心して過ごせる職場の雰囲気作りに努めていく。</p> <p>(2) いろいろな考え方の人が集まる職員集団において、それぞれの意見や思いを尊重し、お互い認め合い、高め合っていける関係を作りあげていく。</p> <p>(3) 研修は、職員の安全確保を最優先に、社会の状況を見て受講の機会を確保できるように努める。</p>                                                                                                                                                                   | <p>(1) 法人内の事業所間での異動に伴い、現場の環境が変わったため、利用者の日々の様子等、時間をかけて説明をした。</p> <p>(2) 個々の意見や思いを伝え合う機会を作り支援につなげた。日々の取り組みでは、個々の行動にばらつきがあり、足を止める場面があったが、一つのことに集中しないで周りが見える状況で支援をおこなうよう伝え、お互いがフォローし合うことを意識した。</p> <p>(3) 会場での研修参加の状況はなかなか好転しなかったが、Zoom等を利用したリモート研修には積極的に参加した。</p>                                                                                                                                                                                                     |

工房モコ

| 基本目標及び計画                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 総 括      |
|-------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ④事業展開の実施・民主的経営                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 文責：井口 朋子 |
| (1)現在交渉中の土地を移転先の第一候補としながらも、他の候補地情報も引き続き集めていく。                                 | (1)交渉中の業者に対して工房モコが希望する予算内での交渉をおこなった。数回対面で内装の相談を続ける間、はっきりとした金額を確認できず、予算内で収めたい旨を伝えながら内装の変更相談のみを続けた。半年懇談を続け、年末に家主の希望する金額の提示を受けるが、予算より大きく上がるため希望する予算内での交渉を続けている。別の業者より物件の紹介を受け、予算内で交渉をおこなった。数ヶ所候補があり、最終的に工房モコの名が挙がるが、その内1ヶ所が再度交渉を望み、ストップしている状況。現在の場所より交通の便では、不便になることも考えられるが検討を続けている。<br>(2)きらら作業所・ひだまりの家から1名ずつ職員の異動があった。 |          |
| ⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 文責：武田 智也 |
| (1)職員間で運動の推進により、利用者の生活が豊かになることの理解を深める。また、「平和」について関心を持ち、終礼で議題に取り上げて議論し共有をおこなう。 | (1)終礼の際に情勢報告や研修の内容を討議することで、利用者が置かれている状況や制度を確認・共有することができた。運動に関心を持つことで、利用者の生活が豊になることや実践につながっていることを職員間で考えることができた。「平和」については、終礼で優生思想と非人道的な人権問題になった過去の史実を取り上げ議論をおこなった。「戦争は最大の人権侵害」であり、基本的人権（生存権等）を脅かすことになることを考える良い機会になった。                                                                                                  |          |



2021年度（令和3年度） 工房モコ 利用状況

|      |          |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |       |           |
|------|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----------|
| 生活介護 | 生介Ⅰ      | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 合計    | 平均<br>利用者 |
|      | 定員       | 18   | 18   | 18   | 18   | 18   | 18   | 18   | 18   | 18   | 18   | 18   | 18   | 18    |           |
|      | 区分2      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0     | 18.8      |
|      | 区分3      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0     |           |
|      | 区分4      | 47   | 41   | 39   | 44   | 43   | 42   | 47   | 43   | 23   | 19   | 18   | 23   | 429   |           |
|      | 区分5      | 97   | 88   | 108  | 99   | 102  | 99   | 105  | 99   | 120  | 106  | 108  | 132  | 1,263 |           |
|      | 区分6      | 255  | 208  | 262  | 232  | 242  | 239  | 249  | 235  | 241  | 226  | 203  | 255  | 2,847 |           |
|      | 合計       | 399  | 337  | 409  | 375  | 387  | 380  | 401  | 377  | 384  | 351  | 329  | 410  | 4,539 |           |
|      | 区分5・6（%） | 88%  | 88%  | 90%  | 88%  | 89%  | 89%  | 88%  | 89%  | 94%  | 95%  | 95%  | 94%  | 90.5  |           |
|      | 利用比率（%）  | 106% | 105% | 104% | 105% | 103% | 106% | 107% | 105% | 107% | 103% | 102% | 104% | 105%  |           |

|         |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |     |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
| 開所日（生介） | 21 | 18 | 22 | 20 | 21 | 20 | 21  | 20  | 20  | 19 | 18 | 22 | 242 |

2021年度（令和3年度） 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員30名）・就労継続支援B型（定員10名）】  
 実施施設 名称 きらら作業所  
 所在地 〒560-0081 大阪府豊中市新千里北町2-19-1

実施期間 2021年（令和3年）4月1日～2022年（令和4年）3月31日 開所日数 240 日

|        |                    |     |               |       |       |        |      |      |      |     |            |        |           |                      |                  |                        |      |                                                                                                            |              |                                                             |      |        |  |
|--------|--------------------|-----|---------------|-------|-------|--------|------|------|------|-----|------------|--------|-----------|----------------------|------------------|------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------------------------------------------------------------|------|--------|--|
| 従業者    |                    | 管理者 | 管理責任者<br>サービス | 生活支援員 | 就労支援員 | 看護職員   | 栄養士  | 調理員  | 事務職員 | 運転手 | 機能訓練・マツサージ | 嘱託医    | 顧問<br>弁護士 | 顧問<br>社労士            | 業務委託<br>税理士      | 換算<br>合計<br>人数<br>(常勤) | 年間行事 | ※定例開催：誕生会　マイクロドライブ<br>なかまの店販売当番/緊急事態宣言中は中止<br>コロナ禍による中止<br>素のままフェスタ・虹色コンサート・ふらっとコンサート・障害者登山・遠足　北丘小学校との対面交流 |              |                                                             |      |        |  |
|        | 正規                 | 1   | 1(兼)          | 14    | 2     |        | 1(兼) | 1(兼) | 1(兼) |     |            |        |           |                      |                  | 14.8                   | 4月   | 入所式(各事業所にて)/慰労会                                                                                            |              |                                                             |      |        |  |
|        | 非正規                |     |               | 10    |       | 1      |      |      |      | 3   | 1          | 1      |           |                      |                  | 7                      | 5月   |                                                                                                            |              |                                                             |      |        |  |
|        | ボランティア等            |     |               |       |       |        |      |      |      |     |            |        |           |                      |                  | 0                      | 6月   |                                                                                                            |              |                                                             |      |        |  |
|        | (内障害者雇用)           |     |               |       |       |        |      |      |      |     |            |        |           |                      |                  | 0                      | 7月   | 前期健康診断<br>厨房班戸外活動/きららにて焼肉イベント(休日開所)                                                                        |              |                                                             |      |        |  |
|        | 計                  | 1   | 1(兼)          | 24    | 2     | 1      | 1(兼) | 1(兼) | 1(兼) | 3   | 1          | 1      | 0         | 0                    | 0                | 21.8                   | 8月   | 北町みんなで楽しナイト：中止                                                                                             |              |                                                             |      |        |  |
|        | 職員入退職状況            |     |               |       |       | 新規採用者  |      |      |      |     | 3　名        |        | 退職者       |                      |                  |                        |      | 3　名                                                                                                        |              | 9月                                                          | 避難訓練 |        |  |
| 利用者    |                    | 身体  | 知的            | 精神    | 計     | うち重複   |      |      | 認定区分 | 6   | 5          | 4      | 3         | 2                    | 1                | 未判定                    | 計    | 10月                                                                                                        | 2階班戸外活動(昼食会) |                                                             |      |        |  |
|        |                    |     |               |       |       | 身・知    | 知・精  | 精・身  |      |     |            |        |           |                      |                  |                        |      | 11月                                                                                                        | 1階班戸外活動(昼食会) |                                                             |      |        |  |
|        | 男                  | 12  | 27            |       | 27    | 12     | 1    | 1    |      | 16  | 8          |        | 3         |                      |                  |                        | 1    | 28                                                                                                         | 12月          | なかまの交流会(オンライン)・インフルエンザ予防接種・年末お楽しみ会(オンライン)、厨房班　大掃除　忘年会（休日開所） |      |        |  |
|        | 女                  | 8   | 20            | 4     | 22    | 7      | 3    | 3    |      | 12  | 2          | 4      | 2         |                      |                  |                        | 1    | 21                                                                                                         | 1月           |                                                             |      |        |  |
|        | 計                  | 20  | 47            | 4     | 49    | 19     | 4    | 4    |      | 28  | 10         | 4      | 5         | 0                    | 0                | 0                      | 2    | 49                                                                                                         | 2月           | 避難訓練                                                        |      |        |  |
|        | 平均年齢               |     |               |       |       | 39.9　才 |      |      |      |     |            |        |           |                      |                  |                        |      |                                                                                                            |              |                                                             | 3月   | 後期健康診断 |  |
|        |                    |     |               |       |       |        |      |      |      |     |            |        |           |                      |                  |                        |      |                                                                                                            |              |                                                             |      |        |  |
| 授産活動報告 | 授産内容               |     |               |       |       |        |      |      |      |     | 利用者数(人)    | 職員数(人) | 売上額(円)    | 利用者一人当たり<br>平均工賃（月額） | 受注開始年月日          |                        |      |                                                                                                            |              |                                                             |      |        |  |
|        | 配食サービス事業（就労継続支援B型） |     |               |       |       |        |      |      |      |     | 10         | 5      | 8,610,810 | 20,548               | 2004年（平成16年）4月1日 |                        |      |                                                                                                            |              |                                                             |      |        |  |
|        | 自主製品製造販売（生活介護）     |     |               |       |       |        |      |      |      |     | 31         | 17     | 632,036   | 4,529                | 2004年（平成16年）4月1日 |                        |      |                                                                                                            |              |                                                             |      |        |  |
|        | 内職作業（生活介護）         |     |               |       |       |        |      |      |      |     | 8          | 4      | 68,629    |                      | 2004年（平成16年）4月1日 |                        |      |                                                                                                            |              |                                                             |      |        |  |
|        | その他事業              |     |               |       |       |        |      |      |      |     | 31         | 17     | 296,332   |                      | 2004年（平成16年）4月1日 |                        |      |                                                                                                            |              |                                                             |      |        |  |
|        |                    |     |               |       |       |        |      |      |      |     |            |        |           |                      |                  |                        |      |                                                                                                            |              |                                                             |      |        |  |
|        |                    |     |               |       |       |        |      |      |      |     |            | 計      | 9,607,807 |                      |                  |                        |      |                                                                                                            |              |                                                             |      |        |  |

# きらら作業所

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                                                                                                                                          | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①実践の充実＜生活／労働／健康管理／環境等＞</p> <p>(1) 安心・安全に事故なく活動できるよう、日々の支援の中で小さな変化も見逃さず、その変化やニーズに合わせた介助や支援、環境整備をおこなう。</p> <p>(2) 工賃規定通りに保障するための売り上げを確保する。</p> <p>(3) 他機関やご家族と必要に応じて連絡を取り連携しながら、作業所内外問わず安定した生活が送れるよう支援する。</p> <p>(4) 利用者の健康管理、感染症予防及び感染拡大防止に努める。</p> <p>(5) 情報共有と報連相の徹底に努める。</p> | <p>文責：坂垣 亜樹登</p> <p>(1) 感染症対策も含めた安心して過ごせる日中活動環境の改善を図ってきた。また、利用者の状況やニーズに合わせた活動も検討・実施してきた。今後も継続して環境整備に努める。</p> <p>(2) 授産の注文先が増え、内職作業の増加等活動提供の幅は昨年度よりも広がった。配食サービスでは、弁当代を1食380円に値上げしたことで売上は1.3倍（約100万円増）になり、賞与も規定通り支給することができた。また、新型コロナの影響で休んだ利用者（濃厚接触による自宅待機や閉所）に対して、その期間の工賃保障もおこなった。</p> <p>(3) ご家族の高齢化に伴って他機関を利用するケースが増えた。今後も様々な人と関わる機会が多くなるため、関係者とより密な連携を取ることに努める。</p> <p>(4) 日々の健康観察に努め、例年同様に健康診断とインフルエンザ予防接種をおこなった。</p> <p>(5) 細やかな部分で足りない場面が多々見られた。今後もその徹底に努め、漏れのないシステム作りも考える必要がある。</p> |
| <p>②権利保障＜権利擁護／事故報告書／ひやりハット報告書／苦情・相談報告書等＞</p> <p>前年度、ひやりハット件数は増えており、作成の意識づけと事故予防に対する個々の意識は上がっている。しかし、具体的な事故件数の減少には至っていないため、今後も継続して事故予防とひやりハットに気づける力をつける必要がある。そのためにも班会議等での振り返りや情報共有をおこない、また、権利保障や権利擁護についての学びを深める。</p>                                                               | <p>文責：天本 有紀</p> <p>今年度、ひやりハットの件数がさらに増え、事故件数は減少している。他作業所の情報をもとに事故とひやりの線引きを改めておこなったことも件数増減に影響している面もあるが、班会議等での振り返り、情報共有を通して職員個々にひやりハットに気づけるようになったことも、事故件数減少の要因と考える。今後も引き続きひやりハットに気づくこと、書類作成の意識づけをすることが重要である。定期的に会議等で不適切な支援についての話し合いや、虐待に関する情報、障害者権利条約に関する情報の回覧をおこない、権利保障や権利擁護に触れる機会を設け、学びを深めることができた。</p>                                                                                                                                                                                     |
| <p>③専門性の向上と人材育成</p> <p>(1) 研修や学習の意義を職員全体で再確認し、各職員に応じた研修や実習等の参加が保障できるよう、労働環境の整備にも目を向け、職員全体でフォローする。</p> <p>(2) 経験からだけでなく、その支援の根拠となりうるものを適切に話し合い、共有しながらより良い支援に努める。</p> <p>(3) 互いを知り、認めあえる職員集団作りを目指す。</p>                                                                             | <p>文責：大西 明子</p> <p>(1) 職員体制の許す限り、職員の希望に応じて参加した。しかし、職員体制が厳しい時も多かったため積極的な参加とはならず、労働環境の整備は急務である。</p> <p>(2) 支援については、各班での話し合いを中心に取り組み、全体での共有に努めた。</p> <p>(3) 今年度は非常勤も参加し、きらら会議で各テーマに沿って話し合うワークショップを昨年度に引き続きおこなった。テーマによっては、消化しきれず中途半端に終わってしまったことも多く、掘り下げて話し合う機会を作ることがあまりできなかった。今後は、テーマを絞ったり、より具体的なテーマにする等し、引き続き全体で話をする時間を確保していきたい。</p>                                                                                                                                                         |

# きらら作業所

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                                                                       | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ④事業展開の実施・民主的経営                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>(1) 利用者が安心・安全に過ごせるように施設整備に努め、空調機器や冷凍冷蔵庫等計画的な買い替えが必要なものについて検討する。</p> <p>(2) 班をまたいでフォローし合える職員体制の構築。</p> <p>(3) 業務の役割分担を明確にし、担当を複数にする等、負担が偏らないようにする。</p> <p>(4) バックアップ施設として、グループホームとスムーズに連携・協力できる職員体制を整える。</p> | <p>文責：大西 明子</p> <p>(1) 必要に応じて買い替えや修繕は、その都度おこなってきたが、大きな故障や不具合はなく計画的な検討にまで至っていない。</p> <p>(2) 退職に伴う職員体制の不足が出て、班をまたいでのフォローはできたが余裕はなかった。その都度職員補充をおこない、引続き職員体制の安定を目指す。</p> <p>(3) 職員の経験年数の違いによる業務負担の偏りが見られ、うまく分担できていなかった。それぞれが抱えている業務を具体的に見える化し、的確に分担していく必要がある。</p> <p>(4) ホームと作業所兼務の職員を配置したことで、少しずつ連携できてきている。今年度から始まったばかりということもあり、兼務職員のそれぞれでの役割が曖昧な部分もあるため、どのような役割を担っていくのがよいかを各現場で確認しながら引続き進めていきたい。</p>                 |
| ⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>(1) 障害者運動の推進のためにコロナ禍でも地域との交流を絶やさず続けていく。従来の交流の仕方がしばらくは難しい状況が続くことが想定されるが、ソーシャルディスタンスを遵守し、小集団での交流やネットを活用したりリモート交流等、新しい交流の仕方の模索をおこなう。</p> <p>(2) 憲法9条関連の署名に協力する等、恒久平和へとつながる取り組みをおこなう。</p>                       | <p>文責：鷲本 恵一郎</p> <p>(1) 新型コロナの影響で、従来のような対面での交流はできなかったが、北丘小学校とは担当の教員と相談をし、七夕の飾りつけやリースの提供をおこなった。仕上がった作品の見学の招待を受けたり、お礼状が送られる等、物品のやり取りを通じて交流を深めた。また、なかまの交流会では、他の地域の施設とリモートを通じて交流を深めた。</p> <p>(2) 恒久平和を願い、憲法9条関連の署名に協力した。</p>                                                                                                                                                                                           |
| ⑥その他（新型コロナウイルス対策）                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                                                                                                                                                                                                                | <p>文責：大西 明子</p> <p>(1) 毎日の検温実施、健康観察、手洗い・マスク着用の励行をおこなった。所内や車内の定期的なアルコール消毒、換気の実施に加え、所内は乾燥しないように加湿器や噴霧器も用いて加湿に努めた。また、感染症に関する研修に参加した職員が、会議内で報告し情報を共有した。</p> <p>(2) 検温時の熱発者に対して、その状況に応じて受診や検査の対応もおこなった。その中で、生活環境や体質による熱こもりの起きやすい利用者の対応に苦慮した。また、マスク着用を求められる等、環境の変化が続いていることにより不調となった利用者もいた。感染終息まで正しい情報をもとに引き続き個別の細やかな対応が必要である。</p> <p>(3) 1月に陽性者が判明した時、感染拡大防止・クラスター対策として即日閉所とした。保健所の指示のもと対処した結果、クラスターではなく3日間の閉所で再開した。</p> |

2021年度（令和3年度） きらら作業所 利用状況

|      |          |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |       |           |
|------|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-------|-----------|
| 生活介護 | 生介Ⅰ      | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月  | 3月   | 合計    | 平均<br>利用者 |
|      | 定員       | 33   | 33   | 33   | 30   | 30   | 30   | 30   | 30   | 30   | 30   | 30  | 30   | 30    |           |
|      | 区分2      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      | 0     | 31.6      |
|      | 区分3      | 16   | 18   | 22   | 11   | 12   | 12   | 12   | 12   | 13   | 9    | 9   | 12   | 158   |           |
|      | 区分4      | 21   | 18   | 21   | 20   | 21   | 17   | 20   | 13   | 13   | 15   |     |      | 179   |           |
|      | 区分5      | 150  | 128  | 161  | 140  | 146  | 144  | 153  | 141  | 150  | 113  | 107 | 145  | 1,678 |           |
|      | 区分6      | 494  | 428  | 524  | 464  | 481  | 466  | 483  | 457  | 481  | 362  | 407 | 503  | 5,550 |           |
|      | 合計       | 681  | 592  | 728  | 635  | 660  | 639  | 668  | 623  | 657  | 499  | 523 | 660  | 7,565 |           |
|      | 区分5・6（%） | 95%  | 94%  | 94%  | 95%  | 95%  | 95%  | 95%  | 96%  | 96%  | 95%  | 98% | 98%  | 95.5  |           |
|      | 利用率（%）   | 104% | 100% | 101% | 101% | 105% | 107% | 107% | 104% | 105% | 104% | 97% | 100% | 106%  |           |

|              |        |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |       |           |
|--------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----------|
| 就労継続<br>支援B型 | 就BⅠ    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    | 平均<br>利用者 |
|              | 定員     | 12  | 12  | 12  | 10  | 10  | 10  | 10  | 10  | 10  | 10  | 10  | 10  | 10    |           |
|              | 未判定    | 40  | 35  | 43  | 39  | 40  | 38  | 41  | 37  | 30  | 32  | 34  | 40  | 449   | 7.3       |
|              | 区分1    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 0     |           |
|              | 区分2    |     |     |     |     |     | 8   | 5   |     |     |     |     |     | 13    |           |
|              | 区分3    | 66  | 54  | 67  | 56  | 61  | 54  | 60  | 59  | 59  | 47  | 59  | 60  | 702   |           |
|              | 区分4    | 36  | 26  | 24  | 24  | 32  | 34  | 37  | 45  | 29  | 17  | 20  | 30  | 354   |           |
|              | 区分5    | 20  | 18  | 22  | 19  | 19  | 20  | 21  | 20  | 20  | 16  | 17  | 22  | 234   |           |
|              | 区分6    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 0     |           |
|              | 合計     | 162 | 133 | 156 | 138 | 152 | 154 | 164 | 161 | 138 | 112 | 130 | 152 | 1,752 |           |
|              | 利用率（%） | 68% | 62% | 60% | 66% | 73% | 77% | 79% | 81% | 66% | 70% | 73% | 70% | 73%   |           |

|         |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |     |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
| 開所日（生介） | 20 | 18 | 22 | 21 | 21 | 20 | 21  | 20  | 21  | 16 | 18 | 22 | 240 |
| 開所日（就B） | 20 | 18 | 22 | 21 | 21 | 20 | 21  | 20  | 21  | 16 | 18 | 22 | 240 |

# 2021年度（令和3年度） 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員18名）・就労継続支援B型（定員18名）】  
 実施施設 名称 第2工房「羅針盤」  
 所在地 〒561-0808 大阪府豊中市原田元町2-25-21

実施期間 2021年（令和3年）4月1日～2022年（令和4年）3月31日 開所日数 242 日

| 従業者                                |          | 管理者  | 管理責任者<br>サービス | 生活支援員 | 就労支援員 | 看護職員  | 栄養士 | 調理員 | 事務職員 | 運転手 | マシン・機能訓練 | 嘱託医 | 顧問弁護士     | 顧問社労士 | 業務委託<br>税理士 | 合計（常勤<br>換算人数） | 年間行事                 | ※定例開催：               |          |               |  |  |
|------------------------------------|----------|------|---------------|-------|-------|-------|-----|-----|------|-----|----------|-----|-----------|-------|-------------|----------------|----------------------|----------------------|----------|---------------|--|--|
|                                    | 正規       | 1    | 1(兼)          | 8     | 2     |       |     |     |      |     |          |     |           |       |             | 12             | 4月                   | 保健医療大学実習             |          |               |  |  |
|                                    | 非正規      |      |               | 9     |       | 1     |     |     |      | 3   | 1        | 1   | 1         | 1     | 1           | 8.2            | 5月                   | 保健医療大学実習             |          |               |  |  |
|                                    | ボランティア等  |      |               |       |       |       |     |     |      |     |          |     |           |       |             | 0              | 6月                   | 保健医療大学実習             |          |               |  |  |
|                                    | （内障害者雇用） |      |               | 1     |       |       |     |     |      |     |          |     |           |       |             | 0.4            | 7月                   | 保健医療大学実習             |          |               |  |  |
|                                    | 計        | 1    | 1             | 18    | 2     | 1     | 0   | 0   | 0    | 3   | 1        | 1   | 1         | 1     | 1           | 20.6           | 8月                   | 保健医療大学実習             |          |               |  |  |
| 職員入退職状況                            |          |      |               |       |       | 新規採用者 |     |     |      |     | 2 名      |     | 退職者       |       |             |                | 1 名                  |                      | 9月       | 保健医療大学実習・健康診断 |  |  |
| 利用者                                |          | 身体   | 知的            | 精神    | 計     | うち重複  |     |     | 認定区分 | 6   | 5        | 4   | 3         | 2     | 1           | 未判定            | 計                    | 10月                  | 保健医療大学実習 |               |  |  |
|                                    | 身・知      |      |               |       |       | 知・精   | 精・身 | 11月 |      |     |          |     |           |       |             |                |                      | 保健医療大学実習・インフルエンザ予防接種 |          |               |  |  |
|                                    | 男        | 41   | 5             | 13    | 59    | 2     | 0   | 3   |      | 8   | 15       | 7   | 11        | 3     | 2           | 14             | 60                   | 1月                   |          |               |  |  |
|                                    | 女        | 10   | 0             | 6     | 16    | 0     | 0   | 1   |      | 2   | 4        | 2   | 1         | 2     | 0           | 5              | 16                   | 2月                   |          |               |  |  |
|                                    | 計        | 51   | 5             | 19    | 75    | 2     | 0   | 4   |      | 10  | 19       | 9   | 12        | 5     | 2           | 19             | 76                   | 3月                   |          |               |  |  |
|                                    | 平均年齢     |      |               |       | 58.6  | 才     |     |     |      |     |          |     |           |       |             |                |                      |                      |          |               |  |  |
|                                    | 授産活動報告   | 授産内容 |               |       |       |       |     |     |      |     | 利用者数(人)  |     | 職員数(人)    |       | 売上額(円)      |                | 利用者一人当たり<br>平均工賃（月額） |                      | 受注開始年月日  |               |  |  |
| 下請け（タオル折り・金属の組み立て等）＜生活介護/就労継続支援B型＞ |          |      |               |       |       |       |     |     | 22   |     | 6        |     | 993,775   |       | ¥3,463      |                | 2011年(平成23年)7月       |                      |          |               |  |  |
| 手芸（布ぞうり・ヘアゴム・縫製等）＜生活介護＞            |          |      |               |       |       |       |     |     | 8    |     | 3        |     | 270,864   |       |             |                | 2011年(平成23年)7月       |                      |          |               |  |  |
| 木工（日用雑貨・玩具等）＜就労継続支援B型＞             |          |      |               |       |       |       |     |     | 22   |     | 5        |     | 403,273   |       |             |                | 2011年(平成23年)7月       |                      |          |               |  |  |
| 製菓（焼きドーナツ）＜就労継続支援B型＞               |          |      |               |       |       |       |     |     | 10   |     | 2        |     | 696,329   |       |             |                | 2011年(平成23年)7月       |                      |          |               |  |  |
| 装飾品（ハンブプレスレット・ストラップ等）＜就労継続支援B型＞    |          |      |               |       |       |       |     |     | 3    |     | 2        |     | 82,530    |       |             |                | 2012年(平成24年)4月       |                      |          |               |  |  |
| 紙漉き（ポチ袋・カレンダー等）＜就労継続支援B型＞          |          |      |               |       |       |       |     |     | 11   |     | 2        |     | 205,501   |       |             |                | 2015年(平成27年)10月      |                      |          |               |  |  |
| その他事業                              |          |      |               |       |       |       |     |     |      |     |          |     | 4,000     |       |             |                |                      |                      |          |               |  |  |
|                                    |          |      |               |       |       |       |     |     | 76   |     | 計        |     | 2,656,272 |       |             |                |                      |                      |          |               |  |  |

## 第2工房「羅針盤」

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①実践の充実＜生活／労働／健康管理／環境等＞</p> <p>文責：大神 彰規</p> <p>(1) 販売方法の見直しをおこなうことで、販売活動やイベント等に参加しづらい状況でも、やりがいをもって作業していただけるよう支援をしていく。</p> <p>(2) 利用者の心身状態を把握し、健康保持につながるよう医療機関やご家族と連携をとり、心身の改善や感染拡大防止に努める。</p> <p>(3) 利用者支援の内容が維持、向上されるよう職員間でコミュニケーションを取りフォローし合える体制を築き、職員同士の連携を強める。</p> <p>(4) 安心して通所できるための整備や環境作りをおこなう。</p> | <p>(1) 職員のみで販売に参加し、感染リスクの軽減を図った。販売先を限定して販売活動を継続、さらに新たな自主製品開発をおこない、意欲向上と売上アップに努めた。</p> <p>(2) 利用者の会話での情報や日々の心身状態を職員間で共有をおこない、異常や変化が見つかった場合、医療やご家族につなぎ、病状の早期発見や感染拡大防止に努めた。</p> <p>(3) 職員間で支援内容を分析し実行することで、利用者支援の維持向上することができた。</p> <p>(4) 去年に引き続き感染予防対策（アクリル板・職員フェイスシールドの着用、消毒・換気・室温調整）をおこない、安心して通所ができる環境を整えた。</p>                                                                                    |
| <p>②権利保障＜権利擁護／事故報告書／ひやりハット報告書／苦情・相談報告書等＞</p> <p>文責：肥前 貴明</p> <p>(1) 虐待防止委員が中心となり、職員一人ひとりの権利擁護について知識を深めることができるよう情報を共有する。研修の参加も積極的におこなう。</p> <p>(2) ひやりハット報告書の件数を増やし、事故を未然に防ぐ。</p> <p>(3) 利用者の権利侵害を未然に防ぎ、安心安全を保障するために、事故、相談、苦情があった場合やそれ以外に予見される物事があった時には、その原因や理由を追求し話し合いをおこなう。</p>                              | <p>(1) 虐待防止委員会で取り上げた事例を共有した。権利擁護に関する研修に参加し、内容の報告をおこなった。</p> <p>(2) 昨年度よりもひやりハットの報告件数は少し増加している。しかしながら、日々の業務を優先してしまい、翌日以降に報告書を作成することも時折見受けられた。より正確な情報を報告書に挙げることで、気づきや今後の事故を未然に防ぐ重要な材料となるため、記憶が鮮明な間に報告書を作成する意識づけを事業所全体で持つことが大切である。</p> <p>(3) 事故や相談、苦情等があった時は、その日のうちにミーティングをおこない原因を追及し、同じような事案が起きないように、非常勤職員も含めて全体に情報共有をおこなった。しかしながら、苦情・相談内容では、職員の言葉づかい等による不適切対応が多く挙げられており、再発防止の徹底までにはつながっていない。</p>   |
| <p>③専門性の向上と人材育成</p> <p>文責：田中 麻実</p> <p>(1) チームアプローチを強化し、利用者支援の質の向上を図る。フロア責任者が中心になり、情報の集約・共有化をおこない、相談しやすい環境を作る。先輩・新人関係なく互いに率直な意見交換をする。</p> <p>(2) 支援に必要な基礎的な学習を研修委員が中心になり企画する。経験に関わらず職員全員が学ぶ場をつくる。学んだことを実践に活かすため、日々の振り返りの中、職員間で相互に確認する。</p>                                                                    | <p>(1) 日々の実践では現場責任者に報連相し、必要な事柄について意見交換した。支援の検討にあたっては方向性を統一するため、非常勤職員も含めたフロア全体で話し合い、支援の質の向上を図った。</p> <p>(2) コロナ禍のため外部への研修が難しい分、所内での学び合いの機会を作った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人職員へのOJTを全職員がプログラムを担当し年10回実施。</li> <li>・各職員が学習テーマを提供し、年11回のディスカッションを実施。</li> <li>・非常勤職員の学習を深めるため、権利擁護の研修と発達障害の研修を実施。</li> </ul> <p>その他に、研修委員が中心となりオンライン研修の回覧を積極的におこなった。コロナ禍でも個々に学びたい研修に参加することができた。</p> |

## 第2工房「羅針盤」

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                                                                                                              | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ④事業展開の実施・民主的経営                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>(1) 長期欠席者へのフォローアップを強化する。</p> <p>(2) 新規利用希望者の円滑な受け入れを継続する。</p> <p>(3) 個と集団の成長につながるワーキング等の検討を進める。</p> <p>(4) セルフケアを意識した生活を目指す。</p> <p>(5) 施設内設備や送迎車両等の管理と整備をおこなう。送迎車両については、17年走行している車両もあり、利用者の身体機能低下等も考慮し、古い普通車両をリフト車へ変更し、車イスを利用される方への対応強化をおこなう。</p> | <p>文責：奥田 真</p> <p>(1) 入所施設利用者は、施設側の感染対策で最低限の外出制限となっている方や、ご本人やご家族の判断で自粛されている方、病気やケガによる療養等様々である。基本的には、電話連絡で家庭での様子を窺うことが中心であったが、入退院後のサポートやカンファレンス、通所再開に向けての訪問等、状況に合わせたフォローアップをおこなった（長期欠席者8名）。</p> <p>(2) 利用希望者の相談見学に関しては、双方の安全に配慮して、緊急事態宣言中を避けて対応をおこなった（新規利用者：生活介護2名・就労継続支援B型4名）。</p> <p>(3) これまで月1回、終礼の中で「ツキイチ情勢」という情勢を学ぶ時間を作っていたが、利用者支援に直結する内容も考慮し、より実践的な学習の時間となるよう情勢の枠を外した学習へとシフトした。非常勤職員から「障害についての基礎知識をつけたい」という要望があり、障害種別ごとの研修会や障害者の人権についての学習会も開催した。</p> <p>(4) 利用者だけでなく職員にもコロナ禍における疲労が表面化した1年となった。ストレスの溜まり方・許容できる範囲・ストレスからくる身体への反応は様々で、それらをどのように理解し対応すべきなのか個人で対処できないケースもある。課題は具体的になったが、それらをどのように対処し、クリアしていくかは引き続きの課題である。</p> <p>(5) リフト車が1台増えたことで、これまで車イス利用者の送迎コース調整に制限があったが、柔軟な対応や新規利用希望の対応も円滑におこなえる体制が整った（車両はリフト3台〔キャラバン〕・ノーマル1台〔キャラバン〕・軽自動車1台・ミニバン1台）。</p> |
| ⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>(1) 外部研修（オンラインを含む）を活用し、障害者運動についての知識を深める。</p> <p>(2) 販売活動や署名運動を通して、啓発をおこなう。</p>                                                                                                                                                                     | <p>文責：岡本 結衣</p> <p>(1) オンライン研修を活用し、障害者運動や障害者の権利について学ぶ機会があった。その他にも終礼でグループワークを取り入れ、職員間で障害者の権利に関することについて討議した。</p> <p>(2) 商品の販売を通じて事業所を知っていただく機会があり、その中でどのような事業所であるかを説明し、啓発活動につなげた。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| ⑥その他（新型コロナウイルス対策）                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>(1) 新型コロナウイルスに対する予防を実施する。</p> <p>(2) 衛生用品の確保と環境の整備を継続して進める。</p> <p>(3) 陽性者に対するケアを想定し、実践につなげる。</p> <p>(4) コロナ禍におけるストレスの軽減に取り組む。</p>                                                                                                                 | <p>文責：高瀬 康次郎</p> <p>(1) 本年度は3件の罹患が確認された。重症化やクラスターにこそつながらなかったが、変異株の発生による感染拡大等、予断を許さない状況が続いている。感染症研修にも積極的に参加し、その情報を共有することで感染対策の実践と意識向上に務めた。</p> <p>(2) 衛生用品の在庫管理をおこない、備蓄を含め資材が不足することはなかった。罹患者の発生が予測された時点での状況把握が円滑におこなえるよう、フロアごとの座席配置の記録をおこなった。</p> <p>(3) 感染拡大を未然に防止するため、体調不良者への早期の対応や、濃厚接触者の定義や待期間等、日々変化する情報の把握と共有をおこなった。</p> <p>(4) 陽性に至らないまでもPCR検査数は増加しており、常に感染リスクのストレスに向き合っている。ワクチン接種に関しては、「接種したくない方、接種したくてもできない方」への配慮を考慮した上での情報提供を実施し、希望者全員の接種ができた。休暇の取得しやすい余裕を持った勤務体制や、体調不良による休みが重なった時の体制作りが課題となる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                      |



2021年度（令和3年度） 第2工房「羅針盤」 利用状況

|      |          |      |     |     |     |     |     |     |     |     |      |     |     |       |           |
|------|----------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-------|-----------|
| 生活介護 | 生介Ⅰ      | 4月   | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月   | 2月  | 3月  | 合計    | 平均<br>利用者 |
|      | 定員       | 18   | 18  | 18  | 18  | 18  | 18  | 18  | 18  | 18  | 18   | 18  | 18  | 18    |           |
|      | 区分2      |      |     |     |     |     |     |     | 2   | 4   | 4    | 2   | 3   | 15    | 17.3      |
|      | 区分3      | 3    | 3   | 2   | 2   | 5   | 2   | 0   | 0   |     |      |     |     | 17    |           |
|      | 区分4      | 72   | 59  | 75  | 69  | 60  | 66  | 68  | 66  | 65  | 68   | 62  | 47  | 777   |           |
|      | 区分5      | 203  | 173 | 200 | 186 | 194 | 189 | 204 | 185 | 188 | 188  | 182 | 231 | 2,323 |           |
|      | 区分6      | 97   | 77  | 91  | 81  | 86  | 75  | 96  | 88  | 92  | 80   | 73  | 99  | 1,035 |           |
|      | 合計       | 375  | 312 | 368 | 338 | 345 | 332 | 368 | 341 | 349 | 340  | 319 | 380 | 4,167 |           |
|      | 区分5・6（%） | 80%  | 80% | 79% | 79% | 81% | 80% | 82% | 80% | 80% | 79%  | 80% | 87% | 80.6  |           |
|      | 利用率（%）   | 100% | 97% | 93% | 94% | 92% | 93% | 98% | 95% | 97% | 100% | 99% | 96% | 96%   |           |

|              |        |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     |       |           |
|--------------|--------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----------|
| 就労継続<br>支援B型 | 就BⅠ    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月   | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    | 平均<br>利用者 |
|              | 定員     | 18  | 18  | 18  | 18   | 18  | 18  | 18  | 18  | 18  | 18  | 18  | 18  | 18    |           |
|              | 未判定    | 225 | 173 | 213 | 196  | 198 | 186 | 196 | 194 | 185 | 155 | 167 | 192 | 2,280 | 16.5      |
|              | 区分1    |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     | 0     |           |
|              | 区分2    | 33  | 38  | 41  | 39   | 26  | 41  | 45  | 34  | 40  | 42  | 39  | 44  | 462   |           |
|              | 区分3    | 92  | 89  | 109 | 113  | 112 | 110 | 106 | 101 | 88  | 75  | 49  | 69  | 1,113 |           |
|              | 区分4    | 13  | 11  | 13  | 12   | 16  | 6   | 7   | 9   | 7   | 7   | 8   | 8   | 117   |           |
|              | 区分5    |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     | 0     |           |
|              | 区分6    |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     | 0     |           |
|              | 合計     | 363 | 311 | 376 | 360  | 352 | 343 | 354 | 338 | 320 | 279 | 263 | 313 | 3,972 |           |
|              | 利用率（%） | 97% | 96% | 95% | 100% | 94% | 96% | 94% | 94% | 89% | 82% | 82% | 80% | 92%   |           |

|         |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |     |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
| 開所日（生介） | 21 | 18 | 22 | 20 | 21 | 20 | 21  | 20  | 20  | 19 | 18 | 22 | 242 |
| 開所日（就B） | 21 | 18 | 22 | 20 | 21 | 20 | 21  | 20  | 20  | 19 | 18 | 22 | 242 |

2021年度（令和3年度） 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員20名）】  
 実施施設 名称 クレヨン  
 所在地 〒561-0834 大阪府豊中市庄内栄町4-12-17

実施期間 2021年（令和3年）4月1日～2022年（令和4年）3月31日 開所日数 242 日

|        |                          |     |               |       |       |        |     |     |      |     |            |        |         |                      |                  |                |      |                                                                      |                                      |    |          |
|--------|--------------------------|-----|---------------|-------|-------|--------|-----|-----|------|-----|------------|--------|---------|----------------------|------------------|----------------|------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|----|----------|
| 従業者    |                          | 管理者 | 管理責任者<br>サービス | 生活支援員 | 就労支援員 | 看護職員   | 栄養士 | 調理員 | 事務職員 | 運転手 | 機能訓練・マツサージ | 嘱託医    | 顧問弁護士   | 顧問社労士                | 業務委託<br>税理士      | 換算（人数）<br>（常勤） | 年間行事 | ※定例開催：<br>【毎月1回】誕生日会・調理実習、ふれあい会議〔利用者主体の授産会議〕、音楽教室（＊新型コロナの影響で中止の月もあり） |                                      |    |          |
|        | 正規                       | 1   | 1(兼)          | 8     |       |        |     |     |      |     |            |        |         |                      |                  | 9              | 4月   | 入所式（事業所内）・花見（ドライブなど）                                                 |                                      |    |          |
|        | 非正規                      |     |               |       |       | 1      |     |     |      |     |            | 1      |         |                      |                  | 0.2            | 5月   | 防災訓練（地震＋津波）                                                          |                                      |    |          |
|        | ボランティア等                  |     |               |       |       |        |     |     |      |     |            |        |         |                      |                  | 0              | 6月   |                                                                      |                                      |    |          |
|        | （内障害者雇用）                 |     |               |       |       |        |     |     |      |     |            |        |         |                      |                  | 0              | 7月   | 健康診断・防災訓練（火災）                                                        |                                      |    |          |
|        | 計                        | 1   | 0             | 8     | 0     | 1      | 0   | 0   | 0    | 0   | 0          | 1      | 0       | 0                    | 0                | 9.2            | 8月   | 健康診断                                                                 |                                      |    |          |
|        | 職員入退職状況                  |     |               |       |       | 新規採用者  |     |     |      |     | 1 名        |        | 退職者     |                      |                  |                |      | 名                                                                    |                                      | 9月 | 防災訓練（火災） |
| 利用者    |                          |     |               |       |       | うち重複   |     |     | 認定区分 |     |            |        |         |                      |                  |                |      | 10月                                                                  | 選挙学習                                 |    |          |
|        |                          | 身体  | 知的            | 精神    | 計     | 身・知    | 知・精 | 精・身 |      | 6   | 5          | 4      | 3       | 2                    | 1                | 未判定            | 計    | 11月                                                                  | 遠足の代替え（公園など）・インフルエンザ予防接種・防災訓練（地震＋津波） |    |          |
|        |                          |     |               |       |       |        |     |     |      |     |            |        |         |                      |                  |                |      | 12月                                                                  | リモート開催【①なかまの交流会・②年末お楽しみ会】            |    |          |
|        | 男                        | 1   | 15            | 1     | 17    | 2      | 1   |     |      | 5   | 9          | 2      | 1       |                      |                  |                | 17   | 1月                                                                   | 書初め・初詣・成人のお祝い・防災訓練（地震＋津波）            |    |          |
|        | 女                        | 1   | 4             | 2     | 7     | 1      | 1   |     |      |     | 4          |        | 3       |                      |                  |                | 7    | 2月                                                                   | 豆まき・防災学習・署名学習・昼食会                    |    |          |
|        | 計                        | 2   | 19            | 3     | 24    | 3      | 2   | 0   |      | 5   | 13         | 2      | 4       | 0                    | 0                | 0              | 24   | 3月                                                                   | 演芸大会・防災訓練（地震＋津波）                     |    |          |
|        | 平均年齢                     |     |               |       |       | 36.5 才 |     |     |      |     |            |        |         |                      |                  |                |      |                                                                      |                                      |    |          |
| 授産活動報告 | 授産内容                     |     |               |       |       |        |     |     |      |     | 利用者数(人)    | 職員数(人) | 売上額(円)  | 利用者一人当たり<br>平均工賃（月額） | 受注開始年月日          |                |      |                                                                      |                                      |    |          |
|        | 内職作業（タオル）                |     |               |       |       |        |     |     |      |     | 24         | 8      | 37,084  | 2,100                | 2016年（平成28年）1月5日 |                |      |                                                                      |                                      |    |          |
|        | 内職作業（包装紙）                |     |               |       |       |        |     |     |      |     |            |        | 161,937 |                      | 2019年（平成31年）4月1日 |                |      |                                                                      |                                      |    |          |
|        | 自主製品製造販売事業（プレスレット／コースター） |     |               |       |       |        |     |     |      |     |            |        | 45,700  |                      | 2020年（令和2年）12月1日 |                |      |                                                                      |                                      |    |          |
|        | リサイクル事業（廃品／アルミ缶の回収）      |     |               |       |       |        |     |     |      |     |            |        | 417,313 |                      | 2016年（平成28年）1月5日 |                |      |                                                                      |                                      |    |          |
|        | その他事業（沖縄物産／販売）           |     |               |       |       |        |     |     |      |     |            |        | 55,530  |                      |                  |                |      |                                                                      |                                      |    |          |
|        |                          |     |               |       |       |        |     |     |      |     |            | 計      | 717,564 |                      |                  |                |      |                                                                      |                                      |    |          |

# クレヨン

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①実践の充実＜生活／労働／健康管理／環境など＞</p> <p>(1)トラブル時の安全確保をしながら、関係性を作っていけるような支援をする中で、自由に発言できる環境を作っていく。</p> <p>(2)家族の高齢化に伴う課題や生活状況を把握しながら、家族との情報共有を大切にする。先を見据えた支援を考えていき、他機関との連携を密にしていく。</p> <p>(3)理解しやすいような工夫をして、授産会計の収支を伝えていく。また、利用者・職員ともに収支を意識して取り組めるようにする。</p> <p>(4)利用者の意見を聞く時間を作り、自主製品や作業の進め方について検討する。また、地域等との関わりを増やしていく。</p> <p>(5)感染症対策に配慮しながら、安心して過ごせるスペースを確保し、休憩時間の楽しみ方等も工夫していく。</p> | <p>文責：高嶋 みちる・中部 沙耶</p> <p>(1)コミュニケーションが難しい利用者や、不調時の突発的な行動による事故等が複数あった。トラブルを防ぎ切るのは難しい時もあるが、本人の思いを代弁することやふれあい会議の開催等により、相手の思いや行動に理解を示そうとする利用者も増えてきた。</p> <p>(2)先を見据えた支援を具体的に進めていくことは難しかったが、送迎時や電話で家族との連携は取れていた。</p> <p>(3)毎月ふれあい会議を開催して、収支報告を口頭・書面・グラフを用いて説明し、全体で収支の増減を確認していくことで、少しずつ理解は深まってきているが理解度には差がある。</p> <p>(4)利用者に意見を聞く場を作ってきたが、自主製品の作成や作業の進め方については、利用者の意向を反映できていなかった。12月には、地域交流の一環としてイベントでワークショップを開いた。また、廃品回収のピラ配りを通じて地域との関わりを増やすことができた。</p> <p>(5)依然として1階が密になることは多いが、楽しめることがあると2階でも過ごせた。人が多く集まりやすい時間帯は、過ごし方の工夫をしてきた。</p> |
| <p>②権利保障＜権利擁護／事故報告書／ひやりハット報告書／苦情・相談報告書など＞</p> <p>(1)日頃から自分の言動や行動を客観視して振り返り、権利を擁護する立場であることをしっかりと自覚する。</p> <p>(2)不適切支援についての議論を継続していき、不適切だと思われる対応があった際には見過ごさず、権利侵害を未然に防ぐ。</p> <p>(3)教訓化してきたことを定期的に振り返り、職員全体の共通認識として実践に生かしていく。</p> <p>(4)人の尊厳や権利保障等についての議論を積み重ねていき、自分の言葉で人に伝えられるようにする。</p>                                                                                            | <p>文責：宮前 貴行・日野 聡也</p> <p>(1)虐待防止チェックリストの備考欄や不適切支援について議論を重ねてきたことで、自分の支援を客観視して振り返る機会も多くなってきたが、判断基準が内向きになってしまうこともある。職員それぞれが視野を広げて物事を捉え、個々人の努力に頼らず全体で権利擁護の意識を高めていく。</p> <p>(2)毎週の会議で不適切支援について話す場を設けることで、日々の実践を振り返る意識はついてきた。毎日の終礼で振り返りができるように、気兼ねなく話せる雰囲気作りや権利侵害をなくすという前向きな意識を持つ必要がある。</p> <p>(3)報告書等で振り返り、共通認識として実践に生かすこともできているが、認識の甘さや議論の不十分さ、人任せになる等で繰り返し起きている事案もあった。重要課題等を全体で理解し、職員それぞれが意識を高めていけるような工夫が必要である。</p> <p>(4)やまゆり園事件や優生保護法裁判等を会議の中で取り上げ、それぞれが感じたことを自分の言葉で伝えることを大事にしてきた中で、尊厳や権利保障について深めることができた。</p>                    |
| <p>③専門性の向上と人材育成</p> <p>(1)客観視した上で謙虚な指摘ができる集団を作っていく。そのためにも個人の価値観で判断したり、自分の行動(支援)を正当化したりせず、それぞれが気になったこと等を何でも言い合える環境を整えていく。</p> <p>(2)現場職員による情勢報告や研修報告の機会を増やしていき、職員同士で学び合い、議論することを継続する。</p> <p>(3)オンライン研修を活用して学ぶ機会を確保する。</p> <p>(4)職員個々に必要な学習については、学ぶだけで終わるのではなく報告する機会を作っていき、言語化することも大事にしていく。</p>                                                                                    | <p>文責：日野 聡也</p> <p>(1)気になったことを話す機会は少しずつ増え、会議の場では、自分のことに置き換えながら話をして支援を振り返ることはできてきたが、依然として指摘することに躊躇や遠慮等が見られる。</p> <p>(2)研修や情勢の報告を通して学び合う機会を確保でき、それに対して発言や議論することも増えて、新たな視点や個々の意識の変化等につながった。</p> <p>(3)研修内容を吟味してオンライン研修を職員に割り振り、学ぶ機会を確保してきた。支援の振り返りや利用者の健康面に着目すること等もでき、スキルアップにつながる良い機会となった。</p> <p>(4)職員がそれぞれテーマを決めてミニ学習会を実施した。事前に調べて理解を深めるだけでなく、言語化することで新たな気づきやコミュニケーション能力の向上につながった。</p>                                                                                                                                           |

# クレヨン

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                                                                                              | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p data-bbox="49 240 640 284">④事業展開の実施・民主的経営</p> <p data-bbox="49 292 891 387">(1)昨年度も利用に向けた見学や実習が何度かあったので、希望する方を受け入れることができる体制を整えていく。そのためにも作業環境や支援体制、送迎体制等について検討を重ねる。</p>                                                             | <p data-bbox="1771 240 1986 276">文責：日野 聡也</p> <p data-bbox="911 292 2190 387">(1)4月に新規利用者1名が加わって24名となり、次年度も新たに2名の受け入れが決まっている。作業環境や支援体制等を工夫してきた中で、今年度も見学や実習等の受け入れをしてきたが、事業所の環境が手狭になってきている状況があるので、今後の受け入れについて検討していく必要がある。</p>                                                                                                                                                      |
| <p data-bbox="49 695 896 738">⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み</p> <p data-bbox="49 746 891 938">(1)運動を発展させていくためにも、社会情勢の変化に敏感となり、利用者・家族・福祉に携わる人等が置かれている状況をしっかりと捉える。<br/>(2)恒久平和について日頃から意識できるように、情勢報告や回覧で平和に関することも取り上げていき、それぞれができることから取り組んでいく。</p> | <p data-bbox="1771 695 1986 730">文責：日野 聡也</p> <p data-bbox="911 746 2190 970">(1)会議で全てを共有することができないので回覧を使っているが、後回しになってしまいタイムリーな情報でないことがあった。また、利用者向けに選挙や国会請願署名の学習会をするにあたって、職員も事前に学習する機会ができ、少しずつ運動の大切さを深めることができた。社会運動の重要性や社会の問題点、大事にしていくこと等を利用者や家族も含めて共有していく必要がある。<br/>(2)平和学習としては、沖縄戦とその後の沖縄の状況について学ぶ機会を作り、平和の尊さや恒久平和の取り組みの重要性を学んだ。それ以外にも情勢報告や回覧で触れる機会を作り、日常的に意識を向けられるようにしてきた。</p> |

2021年度（令和3年度） クレヨン 利用状況

|      |          |     |      |      |     |     |     |      |     |     |     |     |     |       |           |
|------|----------|-----|------|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----------|
| 生活介護 | 生介Ⅰ      | 4月  | 5月   | 6月   | 7月  | 8月  | 9月  | 10月  | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    | 平均<br>利用者 |
|      | 定員       | 20  | 20   | 20   | 20  | 20  | 20  | 20   | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20    |           |
|      | 区分2      |     |      |      |     |     |     |      |     |     |     |     |     | 0     | 19.5      |
|      | 区分3      | 73  | 62   | 76   | 68  | 67  | 72  | 75   | 69  | 67  | 62  | 62  | 73  | 826   |           |
|      | 区分4      | 57  | 49   | 62   | 39  | 38  | 29  | 32   | 27  | 30  | 24  | 27  | 34  | 448   |           |
|      | 区分5      | 198 | 181  | 228  | 209 | 228 | 214 | 235  | 213 | 219 | 213 | 197 | 236 | 2,571 |           |
|      | 区分6      | 77  | 67   | 79   | 73  | 73  | 69  | 76   | 75  | 76  | 70  | 64  | 75  | 874   |           |
|      | 合計       | 405 | 359  | 445  | 389 | 406 | 384 | 418  | 384 | 392 | 369 | 350 | 418 | 4,719 |           |
|      | 区分5・6（%） | 68% | 69%  | 69%  | 72% | 74% | 74% | 74%  | 75% | 75% | 77% | 75% | 74% | 73.0  |           |
|      | 利用比率（%）  | 97% | 100% | 102% | 98% | 97% | 96% | 100% | 96% | 98% | 98% | 98% | 95% | 98%   |           |

|         |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |     |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
| 開所日（生介） | 21 | 18 | 22 | 20 | 21 | 20 | 21  | 20  | 20  | 19 | 18 | 22 | 242 |

# ソレイユ

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                                                                                                      | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①実践の充実＜生活／労働／健康管理／環境等＞</p> <p>(1) 安心・安全な実践をおこなうためにも、引き続き万全な感染症対策をおこなうと同時に、利用者を含めヘルパーの体調管理の把握及び推進をおこなっていく。</p> <p>(2) 利用者の多様なニーズに応えるためにも、課題となっているヘルパーの充実と長く働き続ける職場環境づくりを堅持する。</p> <p>(3) 他事業所と連携し、利用者・家族の情報共有を推進しながら、生活全般を捉えた支援計画を作成する。</p> | <p>文責：山河 正裕</p> <p>(1) 関係機関と連携しながら感染症対策を徹底し、必要に応じて支援の変更・中止等をおこない、利用者及びヘルパーにとっても安心・安全な支援をおこなっている。</p> <p>(2) 今年度4月に新たにヘルパー3名を雇用し、必要とされる支援を必要とする人に届けることができるよう、支援体制を強化することができた。退職者はなし。</p> <p>(3) 利用者及び家族の生活環境の変化等、個々のニーズや生活実態に応じた支援をおこなうため、臨機応変に支援計画を見直し策定している。</p>                      |
| <p>②権利保障＜権利擁護／事故報告書／ひやりハット報告書／苦情・相談報告書等＞</p> <p>(1) 情報共有のあり方として、ヘルパーの負担や利便性を考慮したICTの活用も検討していく。</p> <p>(2) 漫然とした支援につながらないよう、業務の振り返りと改善に向けた自己評価制度を整備していく。</p> <p>(3) ひやりハット、苦情報告書の内容を分析し、同様の事象がおこらないよう、より良い支援の充実に努める。</p>                       | <p>文責：山河 正裕</p> <p>(1) 緊急時以外は、主にメールを中心に日々の情報交換をおこなっているが、新しいシステムの導入には職員間に温度差があり、今年度は導入できていない。</p> <p>(2) 職業能力評価シートを活用し、自身の業務レベルの確認に加えて、日常業務で抱えている問題や課題を客観的に見直すことができた。ただし、コロナ禍の下、年度末の実施となり十分に支援に反映されていない。</p> <p>(3) 利用者が大幅に増加したため、支援の多様化に対応するためにも事故や苦情等をより一層慎重に分析し、職員間で共有するよう努めている。</p> |
| <p>③専門性の向上と人材育成</p> <p>(1) 研修の目標、内容、研修時期等、年間を通じた研修計画を作成し、計画に基づいて実施する。研修の具体的目標、実施、評価等の研修管理は研修担当者（サービス提供責任者）がおこなう。</p> <p>(2) 外部研修、スキルアップについては引き続き事業所としてバックアップし、感染症対策に留意しながら参加を推進していく。</p>                                                      | <p>文責：山河 正裕</p> <p>(1) 年間の所内研修計画を策定したが、感染拡大が予想以上に広がったため、状況を考慮しながら対面形式で2回開催することができた。しかし、日々変化する状況に対して、事後報告が多くなる等の情報提供タイミングが合わず課題が残る。研修管理は、管理者とサービス提供責任者が分担した。</p> <p>(2) 同行援護従事者研修、実務者研修等のスキルアップのための外部研修を目指していたが、Zoom研修の日程の調整等、参加条件が厳しかったため今年度は一人も外部研修に参加できなかった。</p>                     |

# ソレイユ

| 基本目標及び計画                                                                                                                                              | 総 括                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ④事業展開の実施・民主的経営                                                                                                                                        | 文責：山河 正裕                                                                                                                                                                                                  |
| <p>(1) 地域生活を円滑におこなえるためにも、安定した居宅介護サービス等の提供がおこなえるよう、事業の推進に必要な人員体制を整える。</p> <p>(2) 従来通り安心して利用できるよう、引き続き感染症対策を徹底し、特に地域でのニーズが多い重度訪問介護と同行援護の支援を充実させていく。</p> | <p>(1) 今年度より、以前従事していたヘルパーの復職を含め3名の増員があり、それに伴い数年来課題となっていた新たな利用者（9名）の支援を実施することができた。</p> <p>(2) 感染症の蔓延により講座自体が中止や延期となり、また、限られた条件下での応募であったため、受講希望はあったものの今年度の新たな受講者はなく、サービス提供種別によっては特定のヘルパーの支援に頼らざるを得なかった。</p> |
| ⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み                                                                                                                                  | 文責：山河 正裕                                                                                                                                                                                                  |
| <p>(1) 各種団体や法人、そして地域で展開される平和活動の取り組みや運動と連携する。</p>                                                                                                      | <p>(1) 新型コロナの市中感染拡大に加えて、集会、活動等の自粛も相次ぎ、事業所全体として今年度も平和活動に関する主だった取り組みはできなかった。</p>                                                                                                                            |
| ⑥その他（新型コロナウイルスに関すること）                                                                                                                                 | 文責：山河 正裕                                                                                                                                                                                                  |
| <p>(1) 感染症対策への理解と対処法を共有し、支援が途切れることがないように、コロナ禍においてヘルパーを含めた事業所が一体となり出来る限り通常業務を推進する。</p>                                                                 | <p>(1) まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発令される中、居宅系のサービスは、感染症対策を徹底してほとんど通常通りの支援を継続してきたが、市中感染が広がる中、屋外での移動支援は中止や制限をおこなってきた。今年度、利用者で陽性者1名が確認されたが、濃厚接触者の該当者はいなかった。新型コロナの収束が見通せない中、支援を受けられなかった利用者に対し、どのようなサポートが必要か等の課題が残る。</p> |

**【利用者の状況】（2022年3月末現在）**

| 年齢（人） |       |      |      |      |      |       |    |
|-------|-------|------|------|------|------|-------|----|
|       | 20歳未満 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳以上 | 計  |
| 男     | 0     | 0    | 2    | 5    | 4    | 0     | 11 |
| 女     | 0     | 0    | 2    | 2    | 2    | 0     | 6  |
| 計     | 0     | 0    | 4    | 7    | 6    | 0     | 17 |

| 障害支援区分（人） |     |     |     |     |     |            |       |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|------------|-------|
| 区分6       | 区分5 | 区分4 | 区分3 | 区分2 | 区分1 | 非該当<br>未判定 | 合計(人) |
| 5         | 3   | 3   | 4   | 2   | 0   | 0          | 17    |

| 身体障害者手帳所持者（人） |           |                    |          |            |          |    |
|---------------|-----------|--------------------|----------|------------|----------|----|
|               | 肢体<br>不自由 | 音声・言語・そ<br>しゃく機能障害 | 視覚<br>障害 | 内部機能<br>障害 | 聴力<br>障害 | 合計 |
| 1級            |           |                    |          |            |          | 0  |
| 2級            | 1         |                    |          |            |          | 1  |
| 3級            |           |                    | 1        |            |          | 1  |
| 4級            |           |                    | 1        |            |          | 1  |
| 5級            |           |                    | 1        |            |          | 1  |
| 6級            |           |                    |          |            |          | 0  |
| 計             | 1         | 0                  | 3        | 0          | 0        | 4  |

| 療育手帳所持者（人） |    |    |    | 精神保健福祉手帳所持者（人） |    |    |    | 難病指定（人） |    |    |
|------------|----|----|----|----------------|----|----|----|---------|----|----|
|            | 男性 | 女性 | 合計 |                | 男性 | 女性 | 合計 | 男性      | 女性 | 合計 |
| A          | 5  | 2  | 7  | 1級             | 1  |    | 1  | 0       | 0  | 0  |
| B1         | 2  | 2  | 4  | 2級             | 1  | 1  | 2  |         |    |    |
| B2         | 1  |    | 1  | 3級             | 1  | 1  | 2  |         |    |    |
| 合計         | 8  | 4  | 12 | 合計             | 3  | 2  | 5  |         |    |    |

**【職員の状況】（2022年3月末現在）**

常勤職員      1名  
非常勤職員    10名



# 相談支援センターきらら

## 基本目標及び計画

## 総括

### ①実践の充実＜一般相談／計画相談／当事者、家族の不安の解消・情緒安定等＞

文責：坂田 沙知子

(1) 家族や関係機関とともに連携を図り、チームでより良い支援を行えるよう努める。  
 (2) 当事者、家族の希望する生活を実現するために、より細やかなニーズに対応できるよう努めていく。  
 (3) 医療や専門機関と連携し、適切な助言やサポートを受けて、当事者の健康維持につなげていく。

(1) 訪問看護とヘルパーが連携し、洗髪ができていない方へのアプローチができた。“当事者中心”を大切に、本人の強みや“やりたい”気持ちを尊重した支援を進めてきた。高齢のご家族と当事者のケース、当事者とその子どものケース等、複合的なケースの相談が多かった。生活面や医療面、多面的にサポートし、当事者が主体的に取り組めるように役割分担をしてきた。  
 (2) 相談内容の分析と共有がスムーズになった。その後の支援の方向性や役割分担は、家庭訪問調査票を用いて次の動きを確認し、職員会議でケースの共有を進めてきた。法人内の現場から実践に関わる相談があった。今後も実践だけに限らず、社会資源の情報提供等を進めていく。  
 (3) 直接通院同行することで医療とつながることができた。医療拒否があった方のケースでは、治療方針の説明に同席することもあった。本人の強い拒否があれば、医療側から受け入れ拒否を言い渡されたこともあった。

### ②権利保障＜権利擁護／事故報告書／ひやりハット報告書／苦情・相談報告書／意思決定支援＞

文責：清 眞司郎

(1) ひやりハット、事故・苦情・相談を報告し、再発防止のため、再分析に努める。心にゆとりをもち、業務には平常心で取り組んでいけるようにしていく。  
 (2) 常に当事者の立場に立ち、当事者自らが意思決定できるようにサポートしていく。

(1) 事故報告書3件／ひやりハット報告書4件／苦情・相談報告書6件  
 報告書は、記録後に朝礼・会議等で他の相談員に報告し共有してきた。サービスをつなぐ際に、入院時にあったことの経緯で説明不足があり、家族を不快な思いにさせてしまった。また、スケジュールの書き漏れにより当事者から連絡が入ることが2件あった。今後は、再度同じようなことが起こらないよう対策や分析が必要になっている。  
 (2) 意思決定支援  
 昨年同様に当事者中心に相談活動を進めてきた。しかし、相談員の都合で当事者自らができることを摘んでしまっていることがある。また、当事者が望む生活を目指し、意向を汲み取れるように心がけてきたが、声として家族の意向になっていないか、真の希望する生活ができているのか思い悩む現状がある。疑問に感じることで気づきにつながった。

### ③専門性の向上と人材育成＜研修／会議／職員集団＞

文責：高橋 敦子

(1) 多岐にわたる相談にも対応できるよう、事業所として専門性の向上やスキルアップにつなげていく。  
 (2) エリア会議等で、事例を通して見えてきた共通の課題を、豊中市自立支援協議会等に発信し、社会資源の改善や施策提案等につなげていけるように努めていく。  
 (3) 日間・週間・月間スケジュール、ケース状況や担当業務を見える化し、職員間で相談・協力し合える環境作りに努める。

(1) 職員全体で受けた研修では、振り返りをおこなう中でそれぞれ違った視点から新たな気づきにつながり、内容を深めることができた。個別で受けた研修も同様に、職員間で共有して全体で専門性向上やスキルアップにつなげていきたい。  
 (2) (3) 朝礼でケース共有を図り、直面している課題は、職員会議でケース検討をおこなって支援の方向性を協議してきた。課題解決に向けてエリア会議等でも取り上げてもらい、他の相談員や弁護士、学識経験者も交えて、様々な視点から意見をいただくことができた。  
 (3) 新規相談は窓口担当を置くことにし、複数体制を取ったり支援機関の情報収集等を協力し合ったりして、職員間でケースの抱え込まないよう、意識づけにつながってきた。今後は、担当業務についても同様に状況を共有し、協力し合える環境を整えていく。

# 相談支援センターきらら

## 基本目標及び計画

## 総 括

### ④事業展開の実施・民主的経営＜相談支援＞

文責：高橋 敦子

(1) 関係機関による顔の見える関係づくりを図り、チームでより良い支援をすすめていけるようにしていく。  
(2) 豊中市域における相談支援体制の現状をしっかりと発信していき、法人として相談支援の強化に努めていく。

(1) 年齢や障害種別問わず相談を受け、福祉サービス関係の他、医療や就労、介護、教育（保育）分野等、多機関と連携するケースが増えてきた。しかしながら、相談支援が地域で浸透されていないのが現状である。ケースを通して多機関と関わりを図っていきながら、相談支援としての役割を発信し、地域で支援のつながりを広げていけるよう進めていく。  
(2) 自立支援協議会では、地域課題検討部会のメンバーとして、拠点等整備等（豊中モデル）の支援策について引き続き協議している。“豊中”で支え合える仕組み作りを目指し、事例を通して現状・課題の把握を進めている。エリア会議では、北部地域で顔の見える関係作りがおこなえるよう、基幹とともに会議運営にも取り組み、“えん”では、事務局の一員として情報共有や相談員同士の交流、相談員のための勉強会を活動方針として取り組んできた。来年度からは、相談支援体制が再編成される。今後、委託は基幹の役割も備えた地域の相談窓口として求められ、さらなる相談支援の強化が必要とされる。

### ⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み

文責：清 眞司郎

(1) 日常生活で疑問に感じたことを大切にし、情勢や制度についても理解を深めていき、必要に応じて社会資源の改善につなげていけるように努める。

(1) 大学修学支援事業について  
今年度から身体障害をもった車イス利用者の方が、大学修学支援事業を利用して大学に通学している。始まったばかりの事業で国が補助金の単価設定をおこなっているため、受けもらえる事業所が少ない。大阪生活支援センター連絡会でのケース検討で、他市町村の状況を確認し豊中市に要望した。引き続き改善できるように努めていきたい。  
(1) 65歳問題  
65歳を迎える当事者が増えてきており、介護保険に移行することがあった。介護保険になることで日常生活に支障をきたすことがあり、移行できずに3ヶ月ごとの更新でサービスを継続している方もいる。今後は、65歳を迎える当事者が増えることも考えられる。

### ⑥その他（コロナ禍・緊急時の対応）

文責：坂田 沙知子

(1) 当事者、家族に不安を与えないように、感染防止対策をしっかりとっていく。  
(2) 一人暮らしの方の緊急時の動きを想定し、支援機関との連絡調整と必要な情報の確認をしておき、スムーズに対応できるように準備しておく。

(1) 来所していただく際には、換気・アクリル板の設置・検温消毒徹底し、感染対策に努めてきた。訪問の際には、事前に訪問させていただいていいかの確認をし、なるべく短時間で切り上げるように努めてきた。電話での聞き取りだけでは本人像やご自宅の様子等が分かりづらいことがあったため、緊急事態宣言中も訪問が必要な場合があった。  
(2) 緊急時の対応で、発熱が認められた利用者の通院同行、PCR検査に相談員が同行することがあった。ヘルパー事業所や訪問看護がつながっていても、コロナ禍で利用者家族に発熱があった場合、訪問ができない場合があり、隙間の対応を相談員が担うこともあった。  
(3) 緊急対応、救急車の要請に立ち会うことがあった。その時の利用者情報の準備や手順等は、対応した相談員によって違った。今後は統一した手順で進めていく。

# 【利用者の状況】（2022年3月末現在）

一般相談 114名 計画相談（障害児相談支援事業、障害者相談支援事業） 18歳以上 107名 18歳未満 3名

| 年齢（人） |       |      |      |      |      |       |     |
|-------|-------|------|------|------|------|-------|-----|
|       | 20歳未満 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳以上 | 計   |
| 男     | 3     | 13   | 7    | 15   | 23   | 10    | 71  |
| 女     | 0     | 7    | 4    | 7    | 15   | 6     | 39  |
| 計     | 3     | 20   | 11   | 22   | 38   | 16    | 110 |

| 障害支援区分（人） |     |     |     |     |     |            |       |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|------------|-------|
| 区分6       | 区分5 | 区分4 | 区分3 | 区分2 | 区分1 | 非該当<br>未判定 | 合計(人) |
| 41        | 22  | 16  | 11  | 10  | 1   | 9          | 110   |

| 身体障害者手帳所持者（人） |           |                    |          |            |          |    |
|---------------|-----------|--------------------|----------|------------|----------|----|
|               | 肢体<br>不自由 | 音声・言語・そ<br>しゃく機能障害 | 視覚<br>障害 | 内部機能<br>障害 | 聴力<br>障害 | 合計 |
| 1級            | 18        | 0                  | 2        | 2          | 0        | 22 |
| 2級            | 9         | 1                  | 1        | 0          | 0        | 11 |
| 3級            | 3         | 4                  | 0        | 0          | 0        | 7  |
| 4級            | 2         | 2                  | 0        | 1          | 0        | 5  |
| 5級            | 4         | 0                  | 0        | 0          | 0        | 4  |
| 6級            | 1         | 0                  | 0        | 0          | 0        | 1  |
| 計             | 37        | 7                  | 3        | 3          | 0        | 50 |

| 療育手帳所持者（人） |    |    |    | 精神保健福祉手帳所持者（人） |    |    |    | 難病指定（人） |    |    |
|------------|----|----|----|----------------|----|----|----|---------|----|----|
|            | 男性 | 女性 | 合計 |                | 男性 | 女性 | 合計 | 男性      | 女性 | 合計 |
| A          | 35 | 15 | 50 | 1級             | 1  | 1  | 2  | 5       | 4  | 9  |
| B1         | 4  | 3  | 7  | 2級             | 7  | 10 | 17 |         |    |    |
| B2         | 6  | 1  | 7  | 3級             | 4  | 1  | 5  |         |    |    |
| 合計         | 45 | 19 | 64 | 合計             | 12 | 12 | 24 |         |    |    |

指定相談支援事業所に移行 0名、ケアプランに移行 1名、計画終了 1名、他市町村 20名

## 【職員の状況】（2022年3月末現在）

常勤職員 3名

非常勤職員 0名

# グループホーム

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①実践の充実＜生活／労働／健康管理／環境等＞</p> <p>文責：磯島 貞幸</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に支障がないよう考慮し、必要性に応じて改修や備品購入をしていく。</li> <li>通院日程や健診結果等を情報共有し、健康管理に留意する。また、緊急時には作業所と連携して対応していく。</li> <li>頓服や座薬を併用し、体調不良にならないように努め、薬の飲み忘れがないように具体的な対策を講じる。</li> <li>摂取量の調整や刻み食等、個々に合わせた食事を提供する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>経年劣化に伴い建具や電化製品、調理器具等の不具合でその都度修理や購入をした（やすらぎの家：2012年12月移転、らしんばんの家：2012年12月開所）。</li> <li>ホームごとに外出予定表を作成し、通院日程を周知した。また、業務日誌、連絡ノート等で情報共有し、通院時に相談する等、利用者の健康管理に留意した。</li> <li>頓服等服用の際は用法容量を周知し、使用時には、業務日誌等に記載して情報共有をしている。また、常用薬はカレンダーへのセットや個別容器の使用により、事前に気づく事例があったが服用忘れを防げている。</li> <li>健診結果を考慮し、ご飯の計量や嚥下・咀嚼機能障害がある利用者への刻み対応等、個々に対応をした。</li> </ul> |
| <p>②権利保障＜権利擁護／事故報告書／ひやりハット報告書／苦情・相談報告書等＞</p> <p>文責：磯島 貞幸</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>報告書は早めの作成を心がけ、職員会議等で分析をおこない、対応や解決策を情報共有して再発防止に努める。</li> <li>事故やひやりハット等の事例を通して、教訓や対策について情報共有をおこない、統一した支援につなげていく。</li> <li>虐待防止についての研修をおこなう。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>事例発生時には、状況把握のために聞き取りをおこない、報告書作成は滞ることなく作成ができていた。他の職員への周知をおこない再発防止に努めた。</li> <li>統一した支援をするために、支援内容を文章（連絡ノート等）で周知するようにした。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                           |
| <p>③専門性の向上と人材育成</p> <p>文責：磯島 貞幸</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員一人ひとりに合わせた伝え方を工夫し、コミュニケーションを図る。</li> <li>支援計画等の各種書類の管理を、お互いにチェックやフォローできるように表を作成する等の工夫をする。また、定例会議等で進捗状況を確認し、見通しを立てて書類の作成、整理をしていく。</li> <li>各種研修に参加してスキルアップしていく。</li> </ul>                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて聞き取り（状況把握）等、問題点の解決に向けて個別面談の機会を設けた。</li> <li>書類の管理は、役割分担を決めて会議で進捗状況を確認した。しかし、勤務シフトの都合で事務時間を保障できないことがあった。</li> <li>経験年数に応じて必要な研修に参加した。</li> </ul>                                                                                                                                                                                       |

# グループホーム

| 基本目標及び計画                                                                                                                                                                                 | 総 括                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>④事業展開の実施・民主的経営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者の急な入院等で緊急的に短期入所の利用が必要な場合は日中事業所と連携して、利用者の受け入れをしていく。</li> <li>・安定した事業運営をしていくためにも、日中事業所との兼務等、多様な働き方を模索していく。</li> </ul>     | <p>文責：中村 元英</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急的な短期入所の受け入れはなかった。</li> <li>・他市の短期入所施設を長期利用の利用者を、9月より制度の都合でホーム入居ではなく、ロングショートで受け入れている。</li> <li>・新たにホーム専属常勤職員、日中事業所とホームの兼務職員を配置したが、フォローが不十分であったり、ホームの支援の共有が難しかったり等で異動や退職になった。</li> </ul>                                                                                                                       |
| <p>⑤障害者運動の推進・恒久平和への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「通院等介助の利用は慢性疾患に限り月2回」「特殊寝台はホーム入居者は対象外」等、高齢化が進む中で今後ますます必要となってくる福祉サービスが利用できないことがあるので、利用者の生活実態を踏まえて行政に訴えていく。</li> </ul> | <p>文責：荒内 玲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊寝台の対象については、行政との交渉を経て個別の案件として受け付けるとの回答を得た。しかしながら、必要な福祉サービスが利用できない現状があることには変化がないため、引き続き障連協やきょうされん等の団体とも連携しながら行政に訴えていく必要がある。</li> </ul>                                                                                                                                                                          |
| <p>⑥その他（感染症対策／緊急時対応）</p>                                                                                                                                                                 | <p>文責：荒内 玲</p> <p>＜感染対策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な備品は都度に揃えつつ職員にマスクを配布する等、感染対策に対して留意を促した。</li> <li>・ホーム内の共有スペースではマスクを着用していただき、食事の際は環境調整をおこなった。</li> </ul> <p>＜緊急時対応＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の急な体調不良で通院する際や救急搬送に対応する等、その都度の体制を考慮して日中事業所や世話人と連携して対応した。</li> <li>・職員の急な欠勤をフォローするため、シフトの調整を適宜おこなったが、休日出勤になる場合があった。</li> </ul> |

**【利用者の状況】（2022年3月末現在）**

| 年齢（人） |       |      |      |      |      |       |    |
|-------|-------|------|------|------|------|-------|----|
|       | 20歳未満 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳以上 | 計  |
| 男     |       |      | 2    | 6    | 10   | 2     | 20 |
| 女     |       | 1    | 1    |      | 2    | 1     | 5  |
| 計     | 0     | 1    | 3    | 6    | 12   | 3     | 25 |

| 障害支援区分（人） |     |     |     |     |     |            |       |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|------------|-------|
| 区分6       | 区分5 | 区分4 | 区分3 | 区分2 | 区分1 | 非該当<br>未判定 | 合計(人) |
| 15        | 9   | 1   |     |     |     |            | 25    |

| 身体障害者手帳所持者（人） |           |                    |          |            |          |    |
|---------------|-----------|--------------------|----------|------------|----------|----|
|               | 肢体<br>不自由 | 音声・言語・そ<br>しゃく機能障害 | 視覚<br>障害 | 内部機能<br>障害 | 聴力<br>障害 | 合計 |
| 1級            | 5         |                    |          |            |          | 5  |
| 2級            | 1         |                    |          |            |          | 1  |
| 3級            | 1         | 1                  |          |            |          | 2  |
| 4級            | 1         | 3                  |          |            |          | 4  |
| 5級            | 1         |                    |          |            |          | 1  |
| 6級            |           |                    |          |            |          | 0  |
| 計             | 9         | 4                  | 0        | 0          | 0        | 13 |

| 療育手帳所持者（人） |    |    |    | 精神保健福祉手帳所持者（人） |    |    |    | 難病指定（人） |    |    |
|------------|----|----|----|----------------|----|----|----|---------|----|----|
|            | 男性 | 女性 | 合計 |                | 男性 | 女性 | 合計 | 男性      | 女性 | 合計 |
| A          | 11 | 3  | 14 | 1級             | 2  | 1  | 3  |         |    | 0  |
| B1         |    |    | 0  | 2級             | 3  | 1  | 4  |         |    |    |
| B2         |    |    | 0  | 3級             |    |    | 0  |         |    |    |
| 合計         | 11 | 3  | 14 | 合計             | 5  | 2  | 7  |         |    |    |

**【職員の状況】（2022年3月末現在）**

常勤職員      3名  
非常勤職員    33名

## 災害対策委員会

### 【はじめに】

前年度に作成した「新型コロナウイルス対応マニュアル」をベースに、感染症対策に取り組んできた。今年度も法人内において罹患者が確認されたが、幸いにも重篤化やクラスターにはつながらなかった。PCR検査に至るケースも増加しているため、今後も感染予防だけでなく、感染後の対応、罹患者やその家族への適切なケア、精神的な負担の軽減や偏見への配慮等を講じていく必要がある。

また、大規模な災害に備えたBCPの作成においても、自然災害だけでなく感染症も含めた複合災害に対する対策が必要となり、「被害を最小限にとどめ、重要業務の継続や早期復旧を図る」ことを目的としているので、事業を継続させていくためにどのような取り組みが必要なのかを法人全体で考えていく。

### 【今年度に取り組んできたこと】

各事業所でのコロナ対策に対する取り組みをまとめ、特に、PCR検査に至った経緯や罹患者が確認された際の対応等、実例をもとに情報共有をおこなった。また、接触者リストの作成方法等を共有することで、罹患者が確認された後の初動を早めることができるように備えた。

BCPの作成においては、計画の策定だけではなくリスクの分析や事前対策等、項目が多岐に渡り時間を要するため、重要事項の絞り込みをおこない早期完成を目標とした。今年度の主な取り組みは下記の通りとなる。

- |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・リモート会議の継続</li><li>・BCPの作成（継続中）</li><li>・浸水想定区域避難確保計画書作成</li><li>・新型コロナウイルス対策の共有</li><li>・ワクチン接種希望者への情報提供</li><li>・避難訓練実施状況の共有</li><li>・施設内外の安全化の確認、危険個所の把握</li><li>・災害時緊急安否確認表の更新</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・防災用備品の購入と非常食の試食</li><li>・職員に自宅から避難場所までのルートや危険な場所の確認</li><li>・防災学習<ul style="list-style-type: none"><li>①BCP研修</li><li>②防災体験研修</li><li>③避難勧告について</li><li>④感染症対策研修</li></ul></li></ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 【まとめ】

国内で新型コロナウイルスの感染が確認されて約2年が経過したが、大阪府では、累計4度目の緊急事態宣言の発令や変異株の置き換えの進行等、未だ収束の見えない状況にある。重篤化しやすいとされる高齢者や基礎疾患のある方が多く通所される中、今後も感染予防策の徹底が求められる。

また、南海トラフ地震を代表とする近い将来での発生が指摘されている大規模地震に加え、新型コロナウイルス等の感染症防止といった「複合災害」への対策をより具体的に講じていく必要があり、有事の際には、地域の方々とも助け合いができるような関係性を作っていくことが重要となる。

各種マニュアルはあくまで基本的な指針であり、職員全員が日頃から防災減災の意識を高めていくとともに、定期的な避難訓練やシミュレーションから得られた成果や課題をフィードバックし、マニュアルの内容を更新していくことが必要となる。新型コロナウイルスにおいては想定外の事態が多く、各事業所での実例を検証する等、より具体的な状況を想定しながら対策を講じていく必要がある。

## 研修委員会

昨年度から続くコロナ禍でどのように研修を進めていくかを話し合ってきた。外部研修については、オンライン開催が主流となったことで参加できる研修は増え、参加を促してきたこともあり、昨年度よりも参加する機会は増えた。また、今年度も法人理念研修をオンラインで実施した。理事長からの講話だけではなく、研修委員が聞き手となって対話形式にした。理念の基本として、利用者の要求に沿って事業展開してきたこと、社会の動向に関心を持っていく大切さ、職員主導にならずに利用者中心の「やさしい時間」の使い方ができるようにというお話を聞くことができた。法人理念を学ぶ機会を継続して作り、語り合える場を設けていき、日々の実践の振り返りや業務につなげていくことを目指していく。

オンラインを活用することで、移動時間の軽減や開始時間を早める等して負担が少なくなった面もあるが、全体で集まることができず、『職員の交流が少なくなった』『横のつながりが薄くなった』という意見もあった。オンラインと対面を柔軟に使い分け、従来の形式に捉われることなく新しい発想を取り入れ、より良い内容で全体会議や研修を開催する必要がある。

今後もコロナ禍の動向を注視しながら、一人ひとりが専門的役割を自覚し、研鑽を重ねていく機会を作っていく。

|      | 開催日時 | 内容           | 参加人数 |
|------|------|--------------|------|
| 新人研修 | 5/27 | 中長期計画        | 12名  |
|      | 6/3  | 発達保障論        |      |
|      | 6/10 | 障害者の歴史       |      |
|      | 6/17 | 個別支援計画について   |      |
|      | 6/24 | 職業倫理         | 13名  |
|      | 7/1  | 社会保障論        |      |
|      | 7/8  | 障害福祉サービスについて | 12名  |
|      | 7/15 | グループホームについて  |      |

|      |                                                                                                                           |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 法人内  | <ul style="list-style-type: none"> <li>法人理念研修（2回に分けて実施）</li> </ul>                                                        |
| 事業所内 | <ul style="list-style-type: none"> <li>新人職員向け研修</li> <li>OJT</li> <li>事業所内部研修</li> <li>非常勤向け研修</li> <li>ヘルパー研修</li> </ul> |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                    |       |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> <li>きょうされん（各種オンライン研修）</li> <li>大阪障害者センター <ul style="list-style-type: none"> <li>「障害者支援基礎講座」「ICFファシリテーター研修」</li> <li>「グループリーダー研修」「福祉施設新人職員研修」</li> <li>「ファシリテーター養成講座」「医療基礎講座」</li> <li>「本人の思いに寄り添う相談研修」「管理者セミナー」</li> <li>「職員向けオンデマンド研修」など</li> </ul> </li> <li>社会福祉経営全国会議（各種オンライン研修）</li> <li>JDサマーセミナー／連続講座</li> <li>自閉スペクトラム症（オンライン講座）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策研修</li> <li>平和学習会</li> <li>人権研修（ハラスメント研修など）</li> <li>虐待防止研修</li> <li>性に関すること</li> <li>優生保護法裁判に関すること</li> <li>高次脳機能障害支援者養成講座</li> </ul> | その他多数 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|



## 虐待防止委員会

今年度も新型コロナの影響によりオンラインでの会議となったが、事例を使つてのグループワーク、虐待防止や障害者権利条約に関する情報の共有、各事業所の報告書類の検討等をおこなってきた。事例検討では、様々な意見を聞くことができ、虐待防止及び権利擁護の意識を高めることができた。

各種報告書については、全体的に昨年度よりもひやりハットは増え、事故は減ってきている。「事故や権利侵害を未然に防ぐ」というひやりハットの重要性が認識できているとも考えられるが、事業所によっては件数の差が大きく出ている。さらなる作成の意識づけや早期に作成できるような工夫が必要である。また、会議で各事業所の報告書を出し合い内容を共有したことで、様々な視点で話し合うことができ、その後の対策や作成方法の参考にすることもできた。

虐待防止に関する取り組みでは、事例をもとに2ヶ月1回のグループワークや、虐待に関するニュースを毎回議論してきた中で、他の職員の意見や考え方を知る機会となるだけでなく、人権意識を高める機会にもなった。虐待防止チェックリストについては、取り組んできて2年弱となるが、日頃の実践（利用者対応や言葉づかい等）を振り返る良い機会となっている。また、チェックリストの備考欄については、記載内容を各事業所で議論するだけでなく、「呼称について」「中途障害者の支援の仕方」等、テーマを決めてグループワークをした事業所もある。議論を重ねることで共通認識のもと支援をすることにつながり、新たな気づきや気になったことを言える良い環境に少しずつなっている。今後もチェックリストを有効活用して不適切な支援を減らし、虐待につながらないように意識を高めていく必要がある。また、気になったことを現場で言い合えるような風土を作り、それが難しい場合には備考欄を活用してそれをもとに議論も重ね、利用者の権利が侵害されないようにしていかなければならない。

ネットワークポポロについては、今年度も事務局会議や研修はオンライン開催となり、毎年実施してきた施設訪問は感染予防のためおこなわず、昨年度と同じように各事業所で自己点検をする形となった。事務局員向けの研修では、介護現場における苦情やハラスメント対応の事例をもとに意見交換をおこなった。複数の視点で事例検討をおこない、様々な意見を聞くことができて参考になった。

来年度は、令和3年度報酬改定に盛り込まれた「障害者虐待防止の更なる推進」と「身体拘束等の適正化の推進」に本格的に取り組むことになる。改めて利用者の権利保障について考える必要があり、日々の支援の振り返りや職員全体で不適切な支援（虐待）についての議論を重ねていかななくてはならない。そのためにも今年度おこなってきた委員会内でのグループワークや情報共有を各事業所で実施できるようにしていきたい。

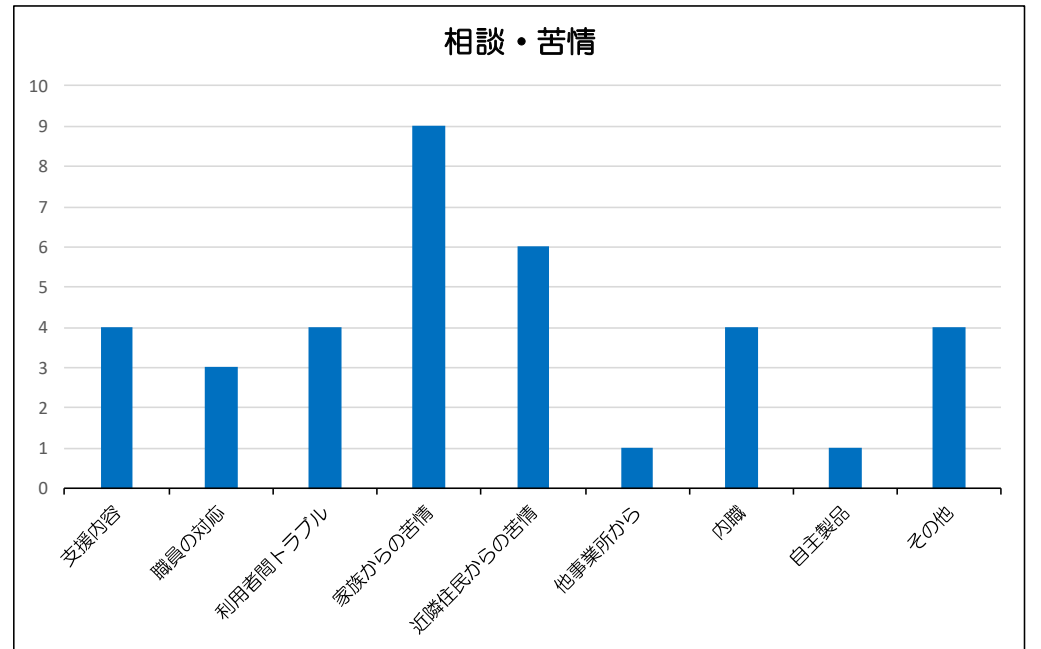
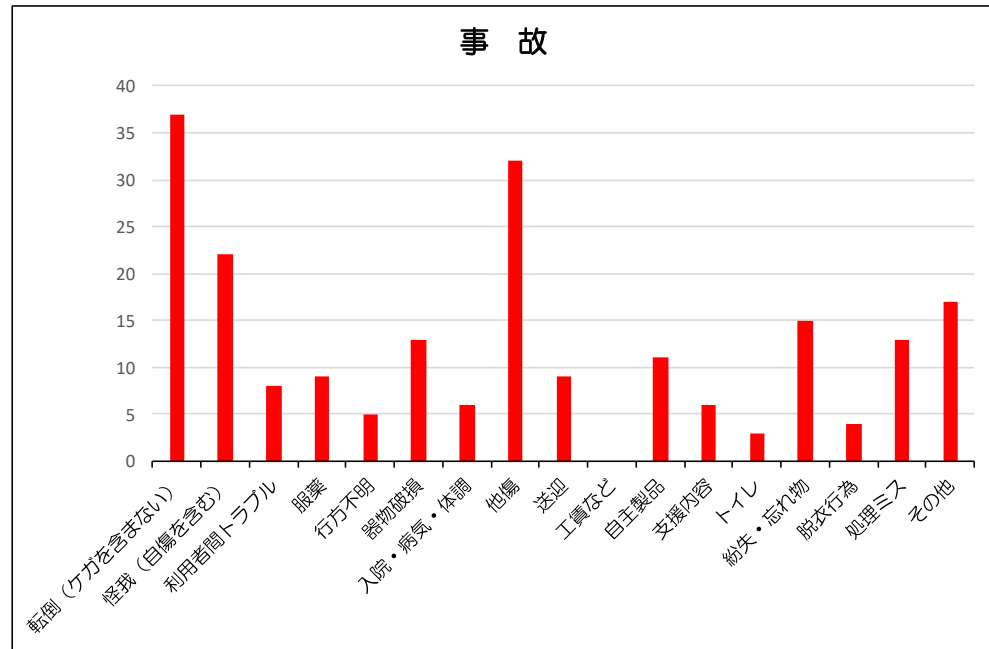
## 2020年度（令和2年度）各報告書の年間報告件数

2020年（令和2年）2月1日～2021年（令和3年）1月31日

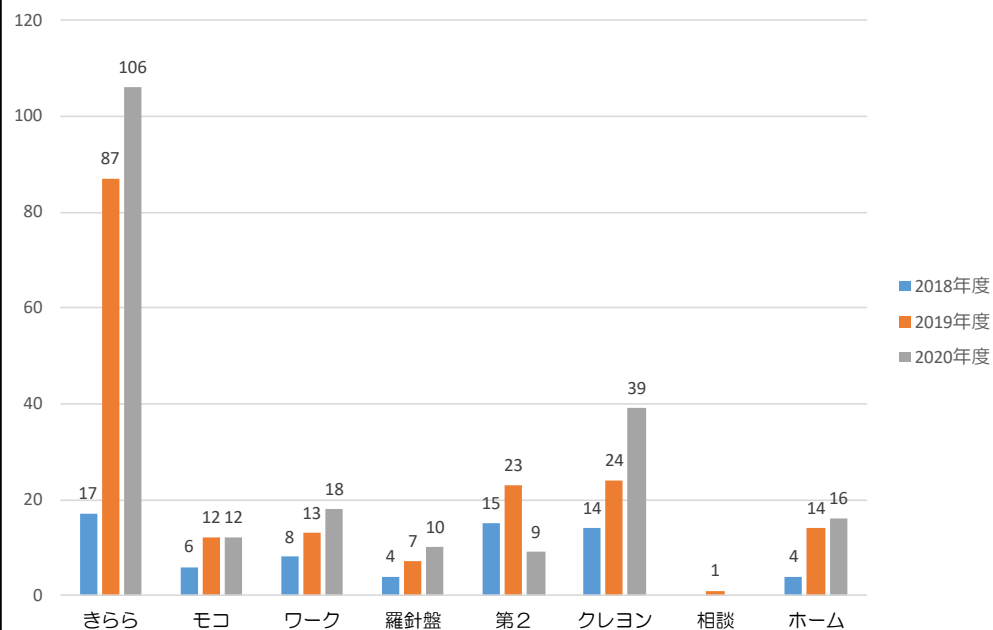
| 事 故         | きらら | モコ | ワーク | 羅針盤 | 第2 | クレヨン | 相談 | ホーム | 合 計   |
|-------------|-----|----|-----|-----|----|------|----|-----|-------|
| 転倒（ケガを含まない） | 11  | 4  | 5   | 3   | 1  | 6    |    | 7   | 37 件  |
| 怪我（自傷を含む）   | 7   | 4  | 2   | 4   |    | 3    |    | 2   | 22 件  |
| 利用者間トラブル    |     |    | 1   | 1   |    | 6    |    |     | 8 件   |
| 服薬          | 7   |    |     |     | 2  |      |    |     | 9 件   |
| 行方不明        | 3   |    |     |     |    | 2    |    |     | 5 件   |
| 器物破損        |     |    | 5   |     |    | 5    |    | 3   | 13 件  |
| 入院・病気・体調    |     |    |     | 1   |    | 1    |    | 4   | 6 件   |
| 他傷          | 13  | 3  | 3   |     |    | 13   |    |     | 32 件  |
| 送迎          | 8   |    |     |     | 1  |      |    |     | 9 件   |
| 工賃など        |     |    |     |     |    |      |    |     | 0 件   |
| 自主製品        | 10  |    |     |     | 1  |      |    |     | 11 件  |
| 支援内容        | 6   |    |     |     |    |      |    |     | 6 件   |
| トイレ         | 2   |    |     | 1   |    |      |    |     | 3 件   |
| 紛失・忘れ物      | 11  | 1  |     |     | 1  | 2    |    |     | 15 件  |
| 脱衣行為        | 4   |    |     |     |    |      |    |     | 4 件   |
| 処理ミス        | 12  |    | 1   |     |    |      |    |     | 13 件  |
| その他         | 12  |    | 1   |     | 3  | 1    |    |     | 17 件  |
| 合 計         | 106 | 12 | 18  | 10  | 9  | 39   | 0  | 16  | 210 件 |

| 苦情・相談     | きらら | モコ | ワーク | 羅針盤 | 第2 | クレヨン | 相談 | ホーム | 合 計  |
|-----------|-----|----|-----|-----|----|------|----|-----|------|
| 支援内容      |     |    |     |     | 4  |      |    |     | 4 件  |
| 職員の対応     |     |    |     |     | 1  | 1    | 1  |     | 3 件  |
| 利用者間トラブル  |     |    |     | 3   |    |      |    | 1   | 4 件  |
| 家族からの苦情   |     |    | 2   | 1   |    |      | 4  | 2   | 9 件  |
| 近隣住民からの苦情 | 1   | 2  |     | 1   |    |      |    | 2   | 6 件  |
| 他事業所から    |     |    |     |     | 1  |      |    |     | 1 件  |
| 内職        |     | 1  |     | 3   |    |      |    |     | 4 件  |
| 自主製品      |     |    |     | 1   |    |      |    |     | 1 件  |
| その他       | 1   |    | 2   |     | 1  |      |    |     | 4 件  |
| 合 計       | 2   | 3  | 4   | 9   | 7  | 1    | 5  | 5   | 36 件 |

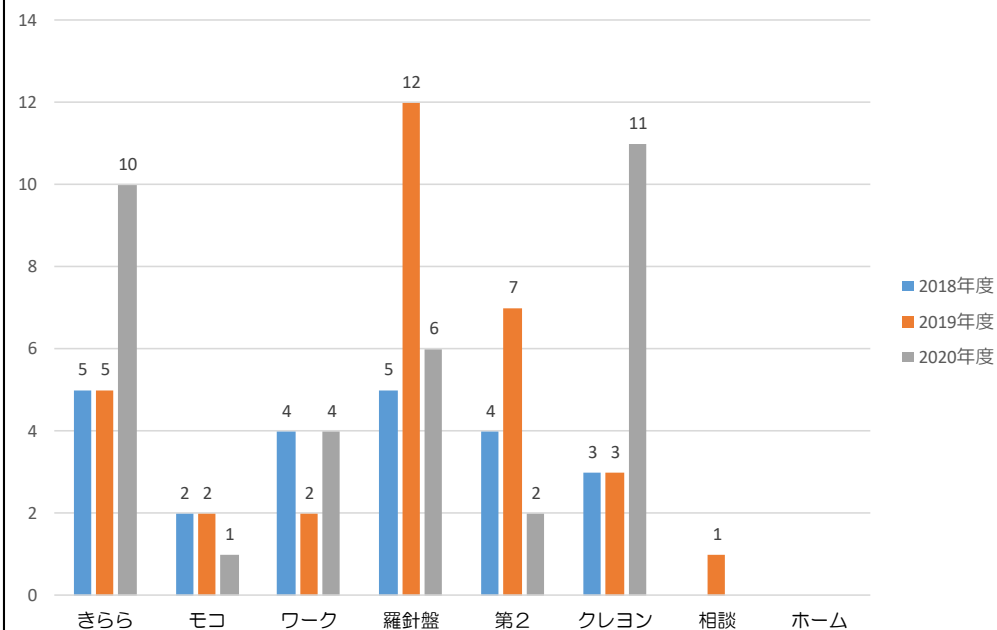
| ひやりハット   | きらら | モコ | ワーク | 羅針盤 | 第2 | クレヨン | 相談 | ホーム | 合 計   |
|----------|-----|----|-----|-----|----|------|----|-----|-------|
|          | 100 | 82 | 60  | 20  | 17 | 157  | 4  | 14  | 454 件 |
| 車 両      | きらら | モコ | ワーク | 羅針盤 | 第2 | クレヨン | 相談 | ホーム | 合 計   |
|          | 10  | 1  | 4   | 6   | 2  | 11   |    |     | 34 件  |
| 内訳（確認不足） | 6   | 1  | 2   | 3   | 2  | 7    |    |     | 21 件  |



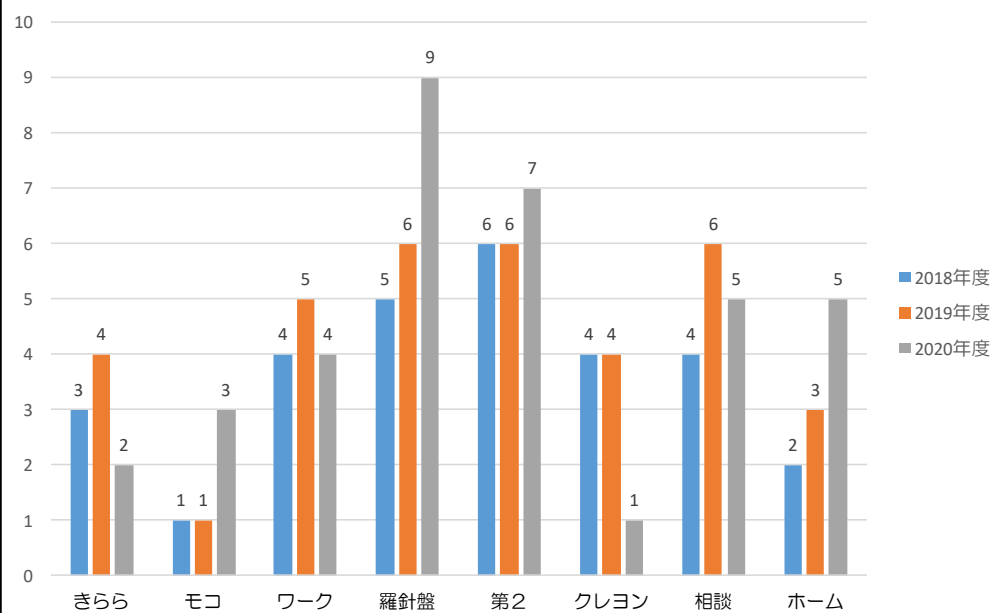
## 事 故



## 車両事故



## 相談・苦情



## ひやりハット

